

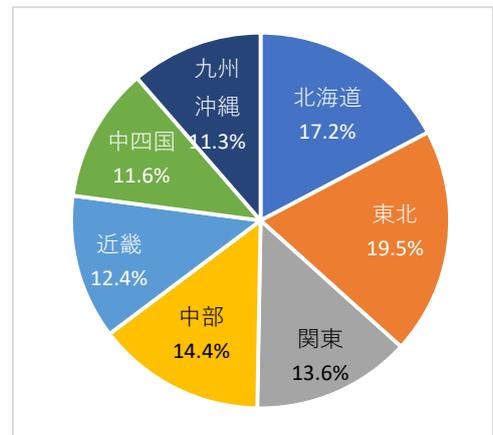
【令和5年度厚労科学研究】火葬場におけるアンケート調査

1 アンケート調査の対象施設及びアンケート回答状況

- (1) アンケート調査の対象施設は、現在恒常的に稼働している火葬場 1,419 箇所（特定非営利活動法人日本環境斎苑協会調べ）を対象とした。
- (2) アンケートの回答状況は、回答票数 354 施設、アンケート回答率 24.9%（354/1,419×100）である。
- (3) 地区別の回答状況は、東北地区 69 施設（回答回収率 41.1%）、北海道地区 61 施設（同 35.5%）、関東地区 48 施設（同 30.0%）、中部地区以西で回答率 22%程度またはそれ以下であった。全回答数に対する回答数の割合（回答占有率）は、東北地区が 19.5%、北海道が 17.2%であるが、中部地区 14.4%、関東地区が 13.6%であり、近畿以西が 11.3~12.4%に留まっている。

区分 地区名	対象 施設数	割合%	回答数	回答 回収率 %	回答 占有率 %
北海道	172	12.3	61	35.5	17.2
東北	168	12.1	69	41.1	19.5
関東	160	11.5	48	30.0	13.6
中部	235	16.9	51	21.7	14.4
近畿	226	16.2	44	19.5	12.4
中国・四国	253	18.2	41	16.2	11.6
九州沖縄	205	14.7	40	19.5	11.3
合計	1,419	101.9	354	24.9	100.0

注：回答回収率とは対象施設数に対する回答数の割合
回答占有率とは全体回答数に対する回答数の割合



2 行政区域内の埋火葬・施設の状況等〔設問 2-1～2-2〕

- (1) 令和4年10月1日現在の行政区域内人口の割合は、関東地区が39.4%と最も多く、近畿地区15.4%、中部地区13.4%、中国四国地区11.8%と続いている。
- (2) 令和4年度の埋火葬実績で、死亡者数は、関東が34.7%と最も多く、近畿地区16.8%、中国四国地区13.2%、中部地区13.0%と続いている。
- (3) 火葬数は、関東地区が22.7%と最も多く、近畿地区17.8%、中部地区16.5%、中国四国地区15.4%と続いている。
- (4) 埋葬数（火葬によらない方法）は、北海道地区、東北地区、九州沖縄地区において、令和2年度の厚生労働省衛生行政報告例の数値を大きく上回っているため、記載ミス又は解釈ミスと思われる。

問2 行政区域内の埋火葬・施設の状況等について伺います。

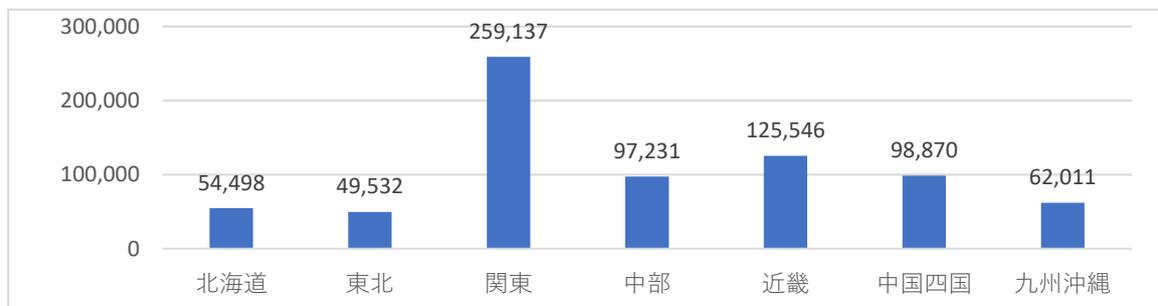
〔設問 2-1〕 令和4年10月1日現在の行政区域内人口は何人ですか。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
人口	3,821,629	4,714,598	26,110,056	8,844,130	10,212,636	7,815,955	4,692,502	66,211,506
割合%	5.8%	7.1%	39.4%	13.4%	15.4%	11.8%	7.1%	100.0%

〔設問 2-2〕 令和4年度埋火葬実績（一部事務組合等の場合は構成市町村の合計でお答えください。）

① 死亡者数

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
死亡者数	54,498	49,532	259,137	97,231	125,546	98,870	62,011	746,825
割合%	7.3%	6.6%	34.7%	13.0%	16.8%	13.2%	8.3%	100.0%



② 火葬数

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
火葬数	53,619	71,191	161,061	116,659	125,908	108,852	71,786	709,076
割合%	7.6%	10.0%	22.7%	16.5%	17.8%	15.4%	10.1%	100.0%



③ 埋葬数（火葬によらない方法）

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
埋葬数	70	447	0	1	0	3	1,659	2,180
割合%	3.2%	20.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	76.1%	100.0%



3 火葬場の整備について[設問 2-3~2-5]

(1) 火葬場の施設数は、東北地区が107施設(18.2%)と最も多く、中国四国地区99施設(16.9%)、中部地区92施設(15.7%)であり、各地区とも10%以上でほぼ平均的となっている。

(2) 火葬場の新設・増改築の検討の可否は、「はい」が81団体(22.9%)、「いいえ」が273団体(77.1%)となっている。

新設・増改築の予定は、2028年が14団体で最も多く、2024~2028年の5年間に45団体が検討している。また、2031年以降に14団体が検討している。

新築・増改築の理由は、「老朽化」が67団体で最も多く、「炉数不十分」が13団体と続いている。

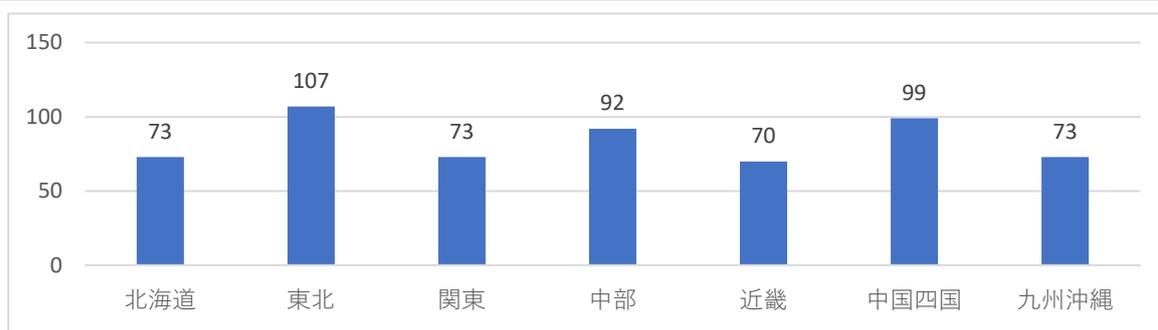
(3) 火葬場の新設・増改築へのPPP/PFIの活用は、64団体が知っていると回答し、13団体が知らないと回答している。

PFIの活用は、30団体が検討する予定があると回答している。

PFIについての内閣府の説明は、1団体が受け入れると回答している。

[設問 2-3] 行政区域内に火葬場は、何箇所ありますか。

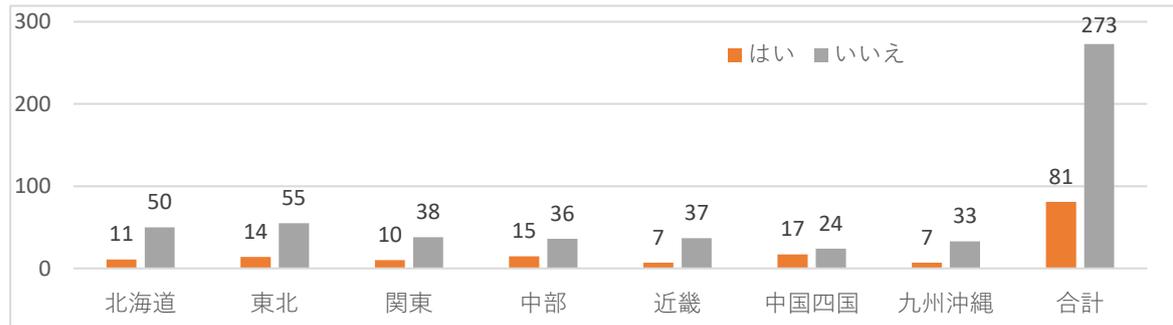
地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
火葬場数	73	107	73	92	70	99	73	587
割合%	12.4%	18.2%	12.4%	15.7%	11.9%	16.9%	12.4%	100.0%



[設問 2-4] 火葬場の新設・増改築を検討していますか、または検討する予定がありますか。

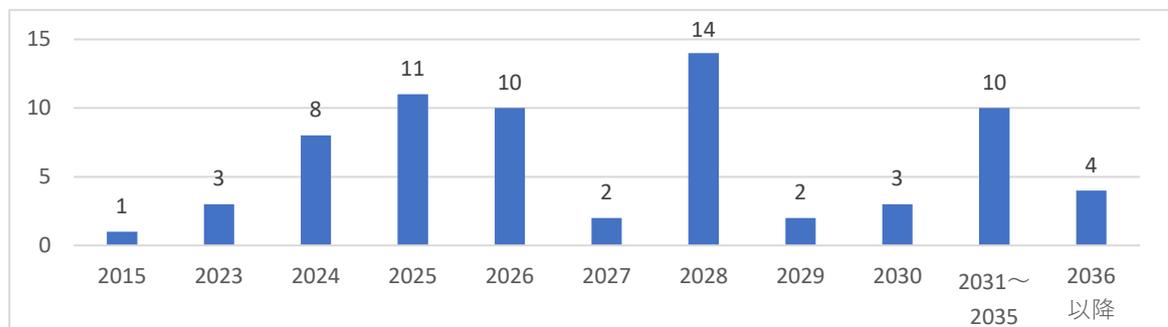
地域名 区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
はい	11	14	10	15	7	17	7	81
いいえ	50	55	38	36	37	24	33	273
合計	61	69	48	51	44	41	40	354

地域名 区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
はい	18.0%	20.3%	20.8%	29.4%	15.9%	41.5%	17.5%	22.9%
いいえ	82.0%	79.7%	79.2%	70.6%	84.1%	58.5%	82.5%	77.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



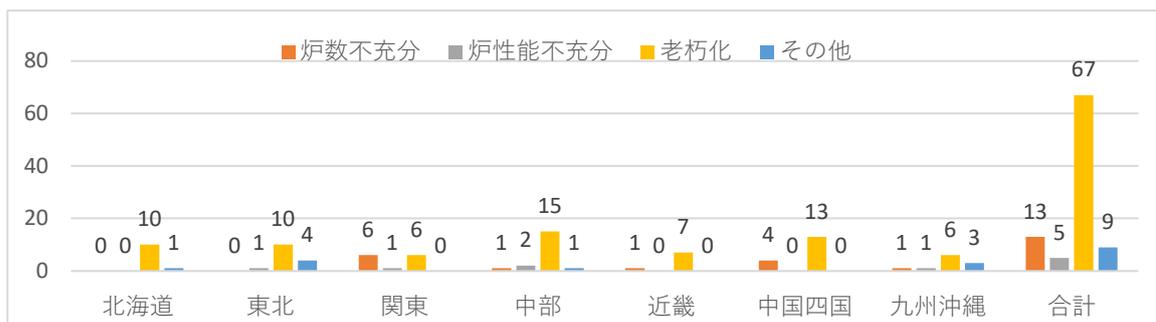
[設問 2-4-1] 新設・増改築の予定時期は何年度頃ですか。(西暦でお答えください)

地域名 予定年	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
2015	0	0	0	0	1	0	0	1
2023	0	1	0	1	0	1	0	3
2024	3	3	0	0	1	1	0	8
2025	0	2	2	0	1	5	1	11
2026	0	5	0	3	0	1	1	10
2027	1	0	0	1	0	0	0	2
2028	2	0	1	7	2	2	0	14
2029	1	0	0	0	1	0	0	2
2030	2	0	1	0	0	0	0	3
2031～2035	0	2	1	1	1	0	5	10
2036以降	0	0	1	2	0	1	0	4
合計	9	13	6	15	7	11	7	68



[設問 2-4-2] 新設・増改築の理由は何ですか。(複数回答可)

地域名 区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
炉数不十分	0	0	6	1	1	4	1	13
炉性能不十分	0	1	1	2	0	0	1	5
老朽化	10	10	6	15	7	13	6	67
その他	1	4	0	1	0	0	3	9
合計	11	15	13	19	8	17	11	94

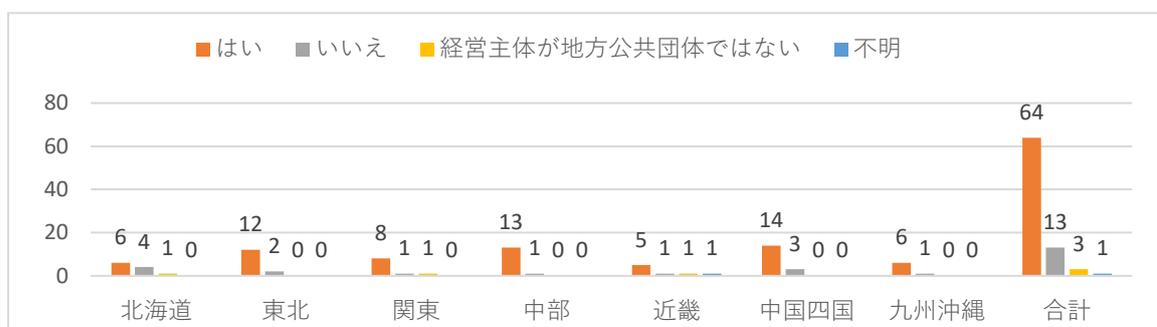


その他

- ・市内斎場の一部廃止による炉数・炉性能不足
- ・市内2か所の火葬場統合
- ・修繕が必要のため
- ・プライバシーの確保、大規模災害への対応
- ・離島地域における火葬場の統廃合

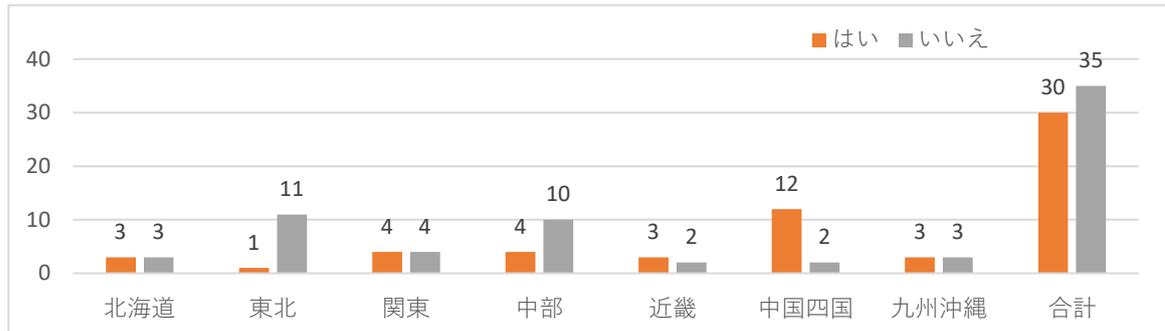
[設問 2-5] [設問 2-4] で「はい」を選んだ方にお伺いいたします。経営主体が地方公共団体である場合には、PPP/PFI に関する内閣府の調査にご協力ください。地方公共団体による火葬場の新設・増改築に PPP/PFI を活用できることをご存じですか。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
はい	6	12	8	13	5	14	6	64
いいえ	4	2	1	1	1	3	1	13
経営主体が地方公共団体ではない	1	0	1	0	1	0	0	3
不明	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	11	14	10	14	8	17	7	81



[設問 2-5-1] 新設・増改築に際し、PFI の活用を検討していますか、または検討する予定がありますか。なお、PFI の支援制度として専門家派遣等※があります。

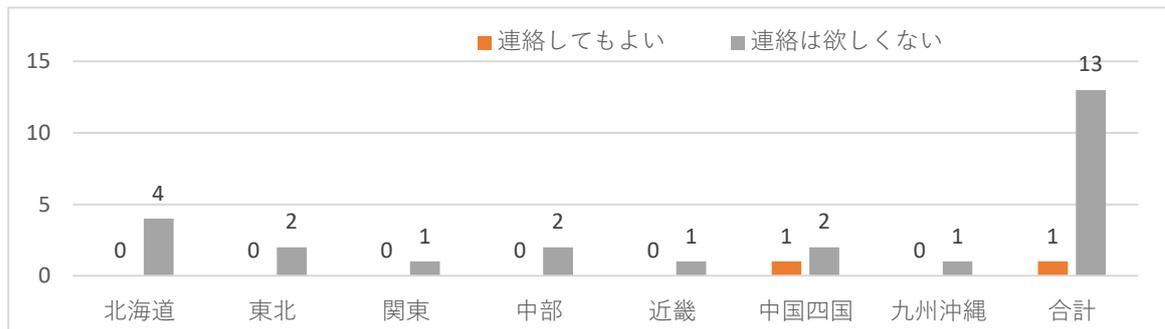
地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
はい	3	1	4	4	3	12	3	30
いいえ	3	11	4	10	2	2	3	35
合計	6	12	8	14	5	14	6	65



[設問 2-5-2] PPP/PFI について、より詳細なご説明に関心がありますか。内閣府からご連絡させていただいてもよろしいでしょうか。

※「連絡してもよい」を選んだ場合、詳細なご説明のために内閣府から連絡させていただくことがありますので、連絡先の情報を含め、本アンケートへの回答を同府に提供することにご承諾いただける場合のみ、「連絡してもよい」をお選びください。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
連絡してもよい	0	0	0	0	0	1	0	1
連絡は欲しくない	4	2	1	2	1	2	1	13
合計	4	2	1	2	1	3	1	14



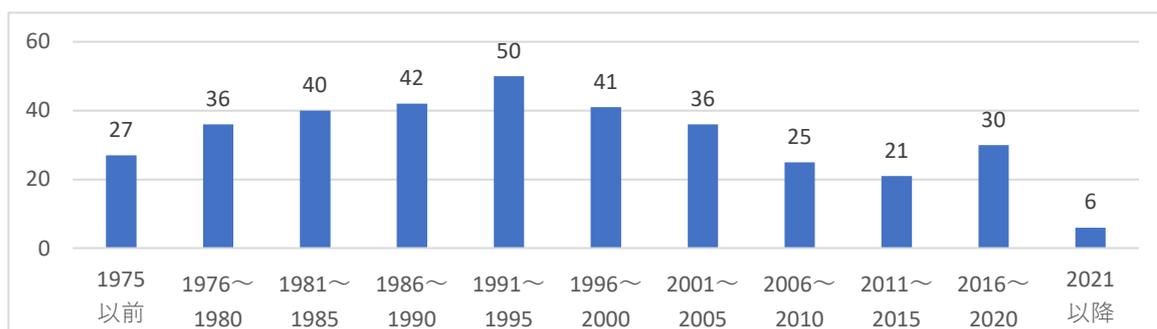
4 火葬場の概要について[設問 3-2~3-4]

- (1) 対象火葬場の建物の竣工年は、2000 年以前が 236 施設（66.7%）であり、1975 年以前が 27 施設（7.6%）を占めている。
- (2) 火葬炉数は、3 基以下が 200 施設（56.5%）と半数以上を占めている。炉数の多い施設は、関東地区、中部地区、近畿地区に集中している。大型炉数は、629 基で人体炉の 39.8% を占めており、これも関東地区が最も多く 145 基（関東地区内で 46.0%）となっている。
- (3) 現在稼働中の火葬炉は、2000 年以前が 190 施設（53.7%）と半数以上を占め、建物の竣工年とほぼ同じ傾向にあるが、中には火葬炉を更新した施設もある。経過年数を見ると、全国平均で 24.1 年であり、設置から 31 年以上経過した施設が 118 施設（33.3%）あり、これらは既に耐用年数を超えていると判断する。

問 3 火葬場の概要について伺います。

[設問 3-2] 火葬場の建物の竣工年はいつですか。（西暦でお答えください）

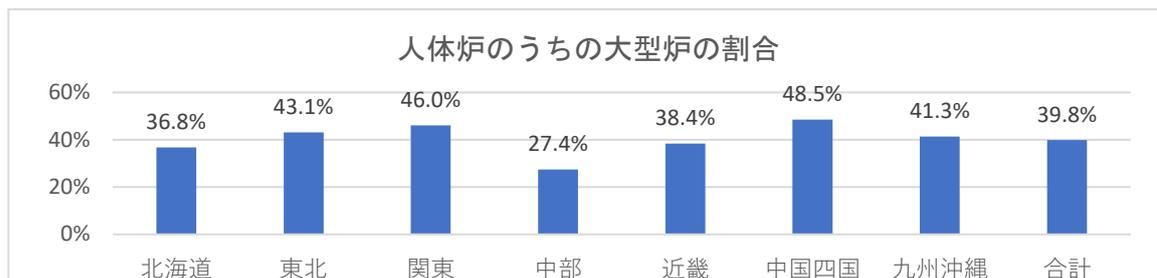
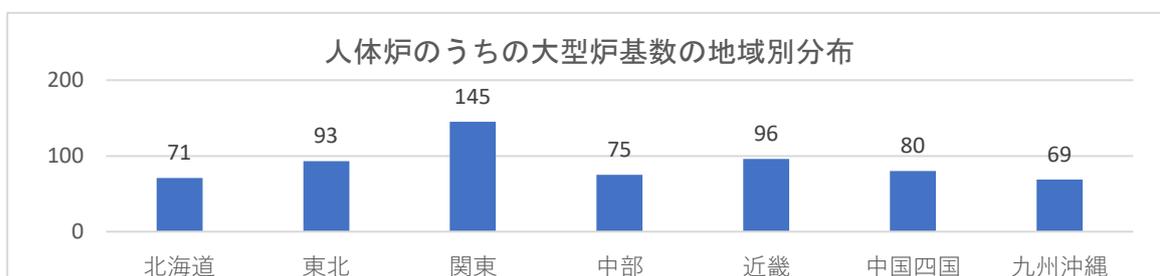
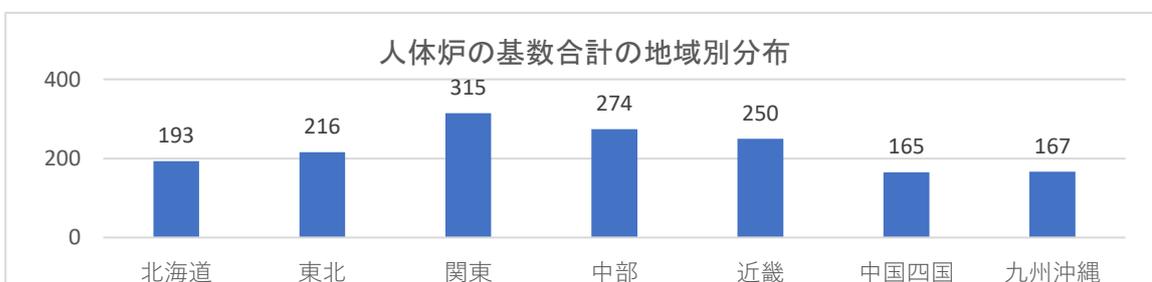
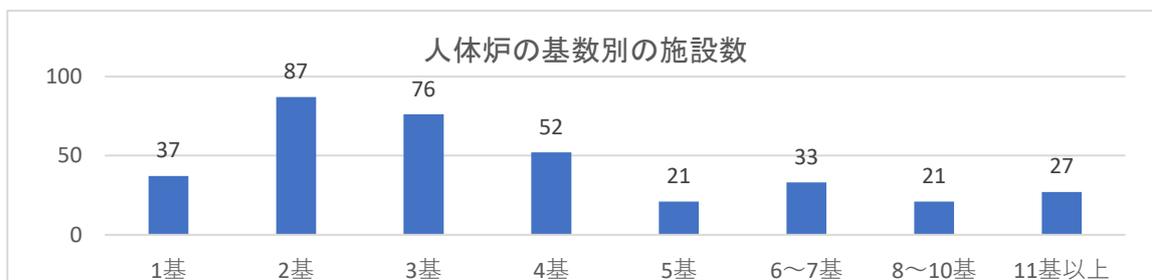
地域名 竣工年	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合 計	
								施設数	割合%
1975以前	4	5	3	8	4	3	0	27	7.6%
1976～1980	11	5	3	6	3	2	6	36	10.2%
1981～1985	9	8	4	4	4	4	7	40	11.3%
1986～1990	7	9	4	3	6	6	7	42	11.9%
1991～1995	7	12	7	5	6	8	5	50	14.1%
1996～2000	7	4	9	3	2	11	5	41	11.6%
2001～2005	5	6	6	8	8	1	2	36	10.2%
2006～2010	5	6	3	5	4	1	1	25	7.1%
2011～2015	2	5	1	2	3	3	5	21	5.9%
2016～2020	3	8	8	4	3	2	2	30	8.5%
2021以降	1	1	0	3	1	0	0	6	1.7%
合計	61	69	48	51	44	41	40	354	100.0%



[設問 3-3] 火葬炉数について伺います。

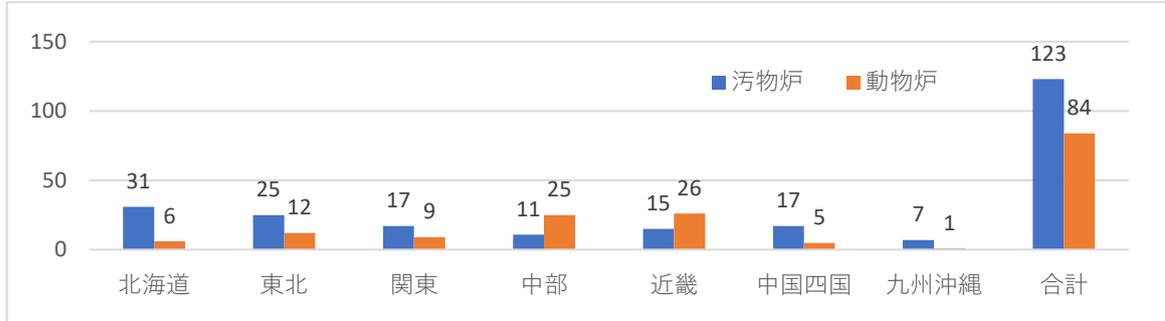
① 人体炉は何基ですか。人体炉のうち大型炉は何基ですか。

地域名 基数	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計	
								施設数	割合%
1基	12	10	1	4	1	5	4	37	10.5%
2基	26	23	6	6	7	11	8	87	24.6%
3基	9	17	6	14	8	10	12	76	21.5%
4基	7	11	6	6	11	4	7	52	14.7%
5基	2	1	4	6	3	3	2	21	5.9%
6~7基	3	3	9	8	5	2	3	33	9.3%
8~10基	0	3	8	2	4	3	1	21	5.9%
11基以上	2	1	8	5	5	3	3	27	7.6%
合計施設数	61	69	48	51	44	41	40	354	100.0%
基数計	193	216	315	274	250	165	167	1,580	
大型炉基数	71	93	145	75	96	80	69	629	
大型炉の割合	36.8%	43.1%	46.0%	27.4%	38.4%	48.5%	41.3%	39.8%	



② 汚物（胞衣）炉は何基ですか。③ 動物炉は何基ですか。

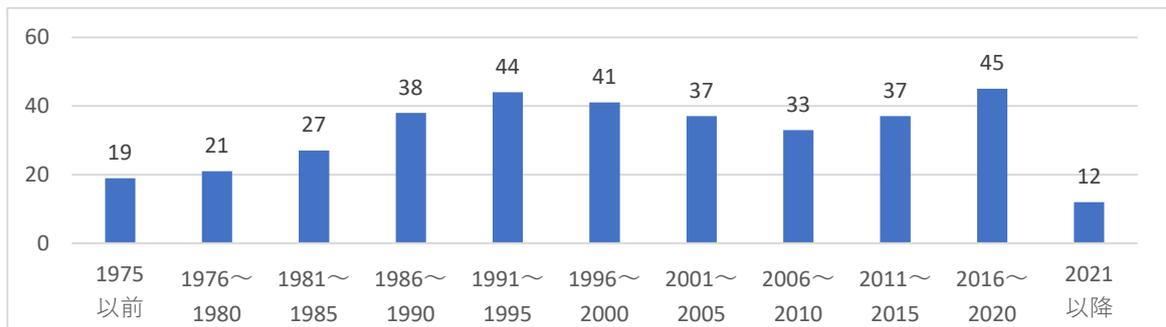
地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
汚物炉	31	25	17	11	15	17	7	123
動物炉	6	12	9	25	26	5	1	84



[設問 3-4] 現在稼働中の火葬炉について伺います。（設置（更新）された年月が最も古い炉についてお答えください。）

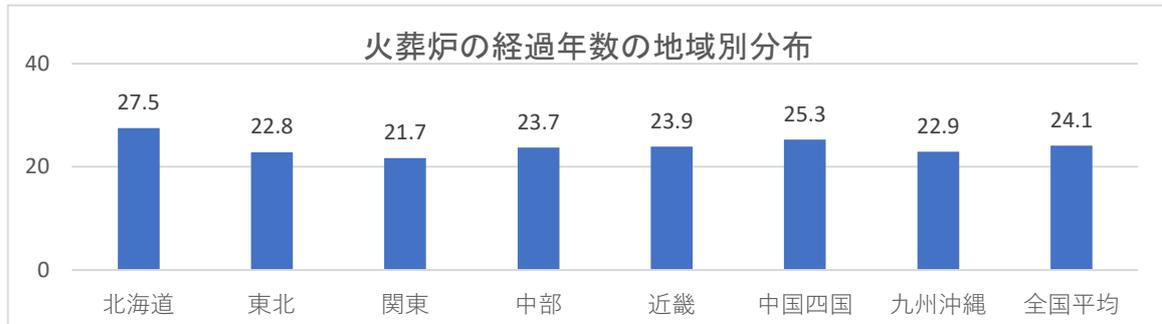
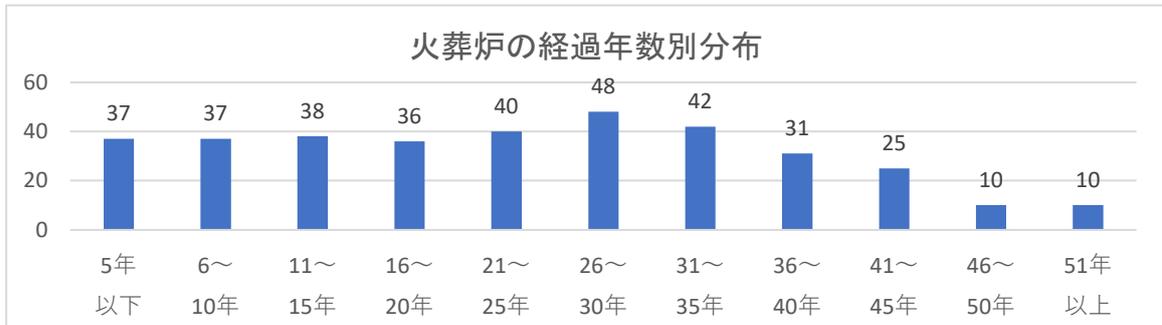
① 設置（更新）された年（西暦でお答えください）

地域名 設置年	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計	
								施設数	割合%
1975以前	4	4	1	4	4	2	0	19	5.4%
1976～1980	9	2	2	3	0	1	4	21	5.9%
1981～1985	8	5	3	3	3	2	3	27	7.6%
1986～1990	5	8	5	5	6	5	4	38	10.7%
1991～1995	6	9	6	5	6	7	5	44	12.4%
1996～2000	5	8	8	4	1	11	4	41	11.6%
2001～2005	5	5	7	8	7	2	3	37	10.5%
2006～2010	7	7	3	6	4	2	4	33	9.3%
2011～2015	2	9	4	3	5	5	9	37	10.5%
2016～2020	8	10	9	5	6	3	4	45	12.7%
2021以降	2	2	0	5	2	1	0	12	3.4%
合計	61	69	48	51	44	41	40	354	100.0%



② 設置（更新）されてからの経過年数

地域名 経過年数	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計	
								施設数	割合%
5年以下	7	9	5	7	5	3	1	37	10.5%
6～10年	3	7	6	4	4	3	10	37	10.5%
11～15年	5	10	3	5	7	4	4	38	10.7%
16～20年	7	4	7	8	6	2	2	36	10.2%
21～25年	4	8	9	5	2	8	4	40	11.3%
26～30年	8	9	7	6	4	8	6	48	13.6%
31～35年	5	10	5	3	8	6	5	42	11.9%
36～40年	7	5	3	4	4	4	4	31	8.8%
41～45年	8	4	3	5	1	1	3	25	7.1%
46～50年	5	1	0	2	1	0	1	10	2.8%
51年以上	2	2	0	2	2	2	0	10	2.8%
合計	61	69	48	51	44	41	40	354	100.0%
平均	27.5	22.8	21.7	23.7	23.9	25.3	22.9	24.1	



5 火葬場の実績について【設問 4-1】

(1) 令和4年度の火葬件数（小人、死産児を含む）は、全国合計で477,751件であり、地区別には関東地区が123,306件（25.8%）と最も多く、次いで中部地区の79,756件（16.7%）、近畿地区の71,236件（14.9%）である。

火葬件数のうち管外の占める割合は、全国平均で7.07%、地区別では近畿地区が9.70%と最も高く、次いで関東地区の7.43%である。

(2) 令和4年度の年間稼働日数（火葬を行った日数）は、全国平均で240.8日であり、地区別には関東地区が281.6日と最も多く、次いで近畿地区の280.1日、九州沖縄地区の263.7日、中部地区の263.6日である。逆に北海道地区は132.7日と極端に少なくなっている。

年間開場日数（休場日を除いた日数）は、全国平均で294.0日であり、地区別には中国四国地区が326.7日と最も多く、次いで近畿地区の326.2日、九州沖縄地区の318.1日、東北地区の314.5日である。ここでも北海道地区は216.9日と極端に少なくなっている。

稼働率（開場日数に対する稼働日数の割合）は、全国平均で81.9%であり、地区別には関東地区が92.5%と最も高く、次いで中部地区の87.3%、近畿地区の85.9%である。逆に北海道地区が61.2%、中国四国地区が73.5%と低くなっている。

最大受入件数（火葬場が受け入れた最大件数）は、全国平均で10.0件であり、地区別には九州沖縄地区が15.4件と最も多く、次いで関東地区の13.3件、中部地区の12.5件である。逆に東北地区が5.8件、北海道地区が6.2件と少なくなっている。

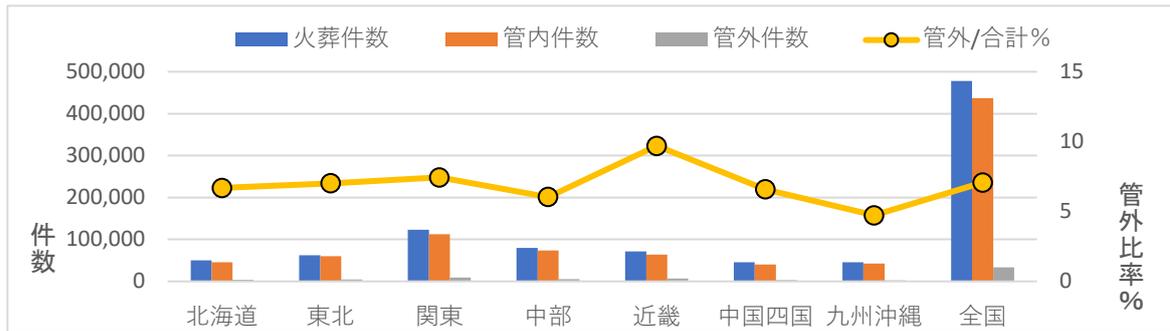
火葬炉1基1日当たりの最大件数（火葬炉1基が行った最大火葬件数）は、全国平均で2.2件であり、各地区ほぼ2件前後であるが、関東地区の2.5件が最も多く、次いで中部地区が2.3件である。

問4 火葬場の実績について伺います。

[設問 4-1] 令和4年度の火葬件数、稼働日数等について伺います。

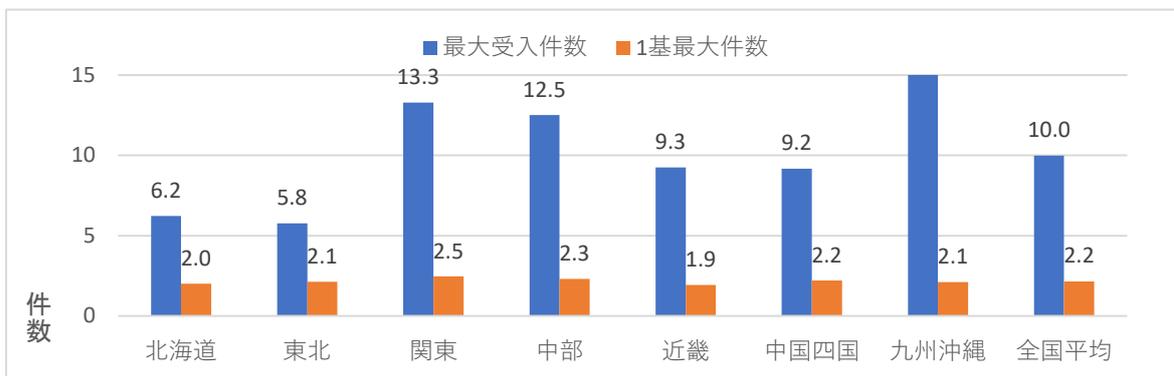
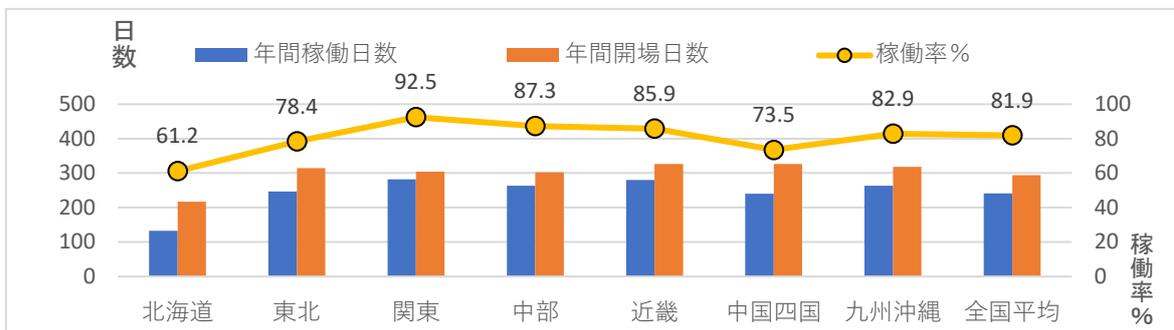
① 火葬件数（小人、死産児を含む）は何件ですか。①の内、管内件数は何件ですか。①の内、管外件数は何件ですか。

地域名 区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
火葬件数	50,107	62,480	123,306	79,756	71,236	45,330	45,536	477,751
割合%	10.5%	13.1%	25.8%	16.7%	14.9%	9.5%	9.5%	100.0%
管内件数	45,497	59,565	112,493	73,354	63,856	40,034	42,393	437,192
管外件数	3,256	4,491	9,031	4,711	6,857	2,820	2,098	33,264
管外/合計%	6.68	7.01	7.43	6.03	9.70	6.58	4.72	7.07
管内外計	48,753	64,056	121,524	78,065	70,713	42,854	44,491	470,456



- ② 年間稼働日数（火葬を行った日数）は何日ですか。③ 年間開場日数（休場日を除いた日数）は何日ですか。④ 1日あたりの最大受入件数は何件ですか。⑤ 火葬炉1基1日当り最大体数は何体ですか。（○体/基・日）

地域名 区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国平均
年間稼働日数(平均)	132.7	246.5	281.6	263.6	280.1	240.2	263.7	240.8
年間開場日数(平均)	216.9	314.5	304.3	301.9	326.2	326.7	318.1	294.0
稼働率%(平均)	61.2	78.4	92.5	87.3	85.9	73.5	82.9	81.9
最大受入件数(平均)	6.2	5.8	13.3	12.5	9.3	9.2	15.4	10.0
1基最大件数(平均)	2.0	2.1	2.5	2.3	1.9	2.2	2.1	2.2



6 火葬場における衛生管理について【設問 5-1～5-12】

- (1) 遺体の感染症の有無の確認は、全国合計で、「常に確認している」が 184 件 (52.0%)、「新型コロナウイルス関連だけを確認」が 83 件 (23.4%)、「確認していない」が 74 件 (20.9%) である。

「常に確認している」場合の確認方法は、「埋葬・火葬許可証等で確認」が 92 件で最も多く、次いで「死亡診断書で確認」が 28 件、「予約時の聞き取り」が 24 件である。
- (2) 遺体に感染症があると判明した場合の作業員への通知は、「している」が 296 件 (83.6%)、「していない (今後行う予定はない)」が 34 件 (9.6%)、「していない (今後行う予定)」が 4 件 (1.1%) である。
- (3) 火葬場で遺体を受け入れてから火葬するまでの間の遺体に触れる機会は、「ある」が 18 件 (5.1%)、「ない」が 336 件 (94.9%) である。

「ある」場合の具体的な場面は、「最後のお別れ」が 7 件、「ドライアイス、副葬品等を入れるとき」が 4 件、「位置確認」が 3 件である。
- (4) 遺体の取扱いに係る基準・手順の有無は、「ある」が 9 件、「ない」が 7 件である。

「ある」場合の具体的な基準・手順は、「棺に必ず納棺し、遺体には触らない」、「感染症等による取扱い」等である。
- (5) 遺体に触れる際の作業員の個人保護具の使用は、マスク、手袋が「させている」が半数以上であり、エプロン、ガウン、ゴーグル、保護メガネ、フェイスガード、帽子が「させていない」が半数以上である。
- (6) 遺体取扱い時に作業員に感染が発生したと思われる事例は、「ある」が 1 件であるが、具体的な状況については未記載である。
- (7) 遺体に触れる作業員が遺体の体液 (血液、尿、排泄物、分泌物) に触れることの有無は、「ほとんどない」が 7 件、「ない」が 12 件で、「しばしばある」、「たまにある」は 0 件である。
- (8) 火葬炉燃焼室下部等に火葬前の遺体の体液等の付着の有無は、「しばしばある」が 5 件 (1.4%)、「まれにある (年に数回程度)」が 50 件 (14.1%) であるが、「ない」は 264 件 (74.6%) である。「しばしばある」という火葬炉は、整備の必要性が高い。
- (9) 棺の取扱いについて基準 (棺の消毒、作業員側の取扱い手順、体液が漏れた場合の対応、棺が壊れた場合の対応等) の有無は、「ある」が 47 件 (13.3%)、「ない」が 201 件 (56.8%) である。

「ある」場合の具体的な基準は、「感染症関係」が 10 件、「厚生労働省指針に基づく」が 6 件、「マニュアル、ガイドラインに基づく」が 4 件等である。
- (10) 火葬炉周辺の作業に対する暑熱環境への対策は、「ある」が 197 件 (94.7%)、「ない」が 10 件 (4.8%) である。

「行っている」場合の具体的な対策は、「空調設備」が 72 件、「スポットクーラー」が 47 件、「換気」、「扇風機」が各 26 件等である。
- (11) 火葬炉周辺の粉じんに関する作業環境測定の実施の有無は、「行っている」が 17 件 (4.8%)、「行っていない」が 273 件 (77.1%) である。

「行っている」場合の直近の測定結果は、「第一管理区分」が16件、「第三管理区分」が1件である。

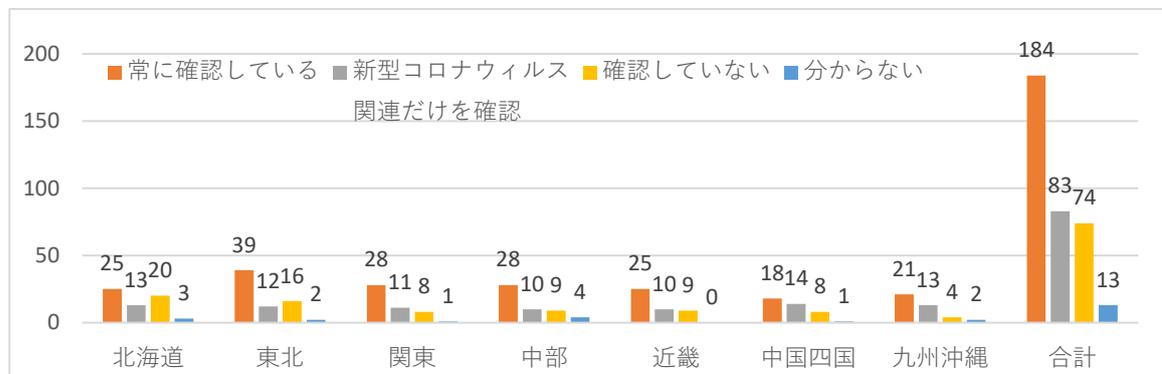
(12) 火葬炉周辺の作業員に対する粉じん対策としての保護具は、「防塵マスクを用意し使用させている」が114件(32.2%)、「防塵マスクを用意しているが、使用は作業員の任意」が89件(25.1%)、「防塵マスクを職場として用意していない」が88件(24.9%)である。

問5 火葬場における衛生管理等について伺います。

[設問5-1] ご遺体の感染症の有無は確認していますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
常に確認している	25	39	28	28	25	18	21	184
新型コロナウイルス関連だけを確認	13	12	11	10	10	14	13	83
確認していない	20	16	8	9	9	8	4	74
分からない	3	2	1	4	0	1	2	13
合計	61	69	48	51	44	41	40	354

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
常に確認している	41.0%	56.5%	58.3%	54.9%	56.8%	43.9%	52.5%	52.0%
新型コロナウイルス関連だけを確認	21.3%	17.4%	22.9%	19.6%	22.7%	34.1%	32.5%	23.4%
確認していない	32.8%	23.2%	16.7%	17.6%	20.5%	19.5%	10.0%	20.9%
分からない	4.9%	2.9%	2.1%	7.8%	0.0%	2.4%	5.0%	3.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



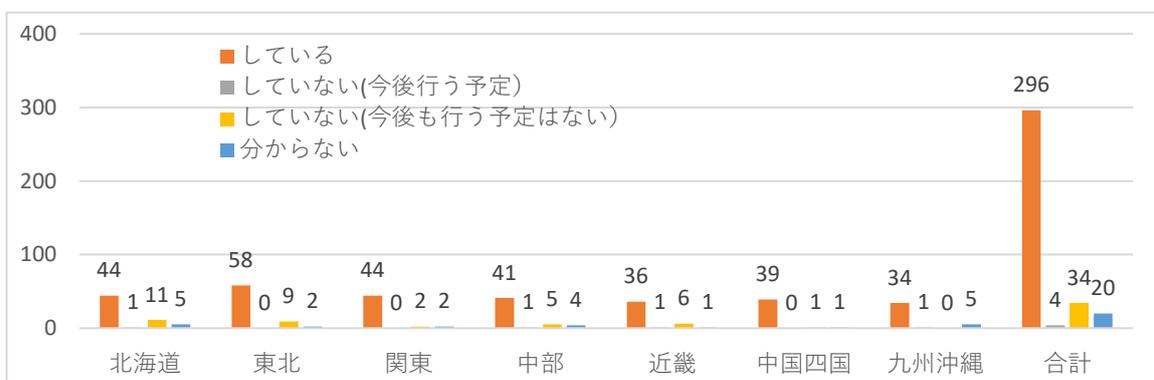
「常に確認している」と答えた方にお聞きします。ご遺体の感染症の確認方法を具体的に教えてください。

- ・埋葬・火葬許可証等で確認：92
- ・死亡届等で確認：15
- ・聞き取り：9
- ・書類で確認：5
- ・葬儀業者からの連絡：4
- ・死亡診断書で確認：28
- ・予約時の聞き取り：24
- ・申請書の記載：8
- ・医療機関からの連絡：4
- ・申し出による：2

[設問 5-2] ご遺体に感染症があると判明した場合、作業員に通知していますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
している	44	58	44	41	36	39	34	296
していない(今後行う予定)	1	0	0	1	1	0	1	4
していない(今後行う予定はない)	11	9	2	5	6	1	0	34
分からない	5	2	2	4	1	1	5	20
合計	61	69	48	51	44	41	40	354

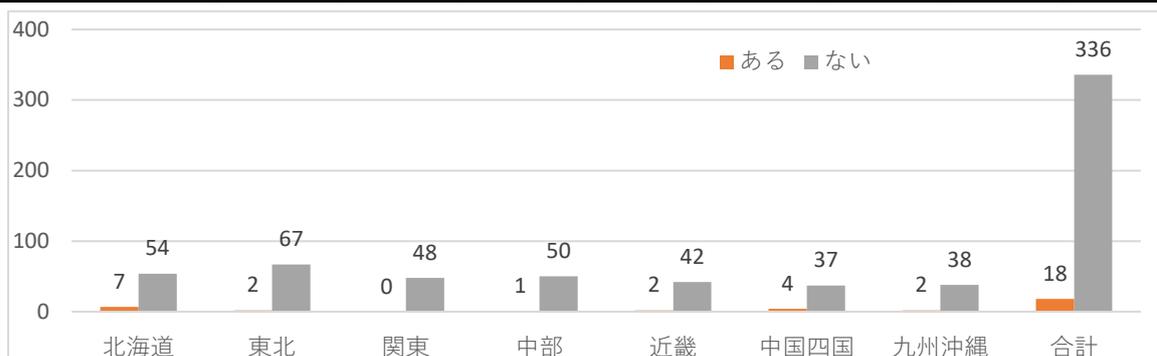
区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
している	72.1%	84.1%	91.7%	80.4%	81.8%	95.1%	85.0%	83.6%
していない(今後行う予定)	1.6%	0.0%	0.0%	2.0%	2.3%	0.0%	2.5%	1.1%
していない(今後行う予定はない)	18.0%	13.0%	4.2%	9.8%	13.6%	2.4%	0.0%	9.6%
分からない	8.2%	2.9%	4.2%	7.8%	2.3%	2.4%	12.5%	5.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



[設問 5-3] 火葬場でご遺体を受け入れてから火葬するまでの間、ご遺体に触れる機会がありますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
ある	7	2	0	1	2	4	2	18
ない	54	67	48	50	42	37	38	336
合計	61	69	48	51	44	41	40	354

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
ある	11.5%	2.9%	0.0%	2.0%	4.5%	9.8%	5.0%	5.1%
ない	88.5%	97.1%	100.0%	98.0%	95.5%	90.2%	95.0%	94.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

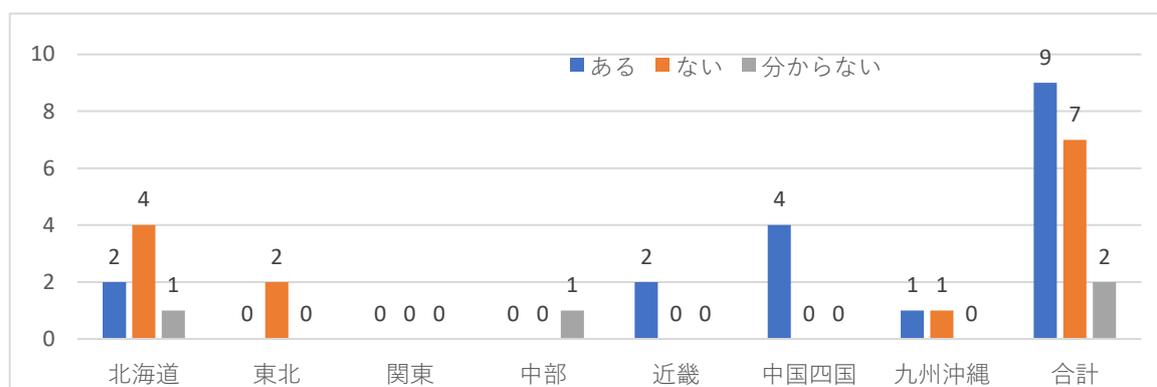


「ある」と答えた方にお聞きします。火葬するまでの間、ご遺体に触れる具体的な場面を教えてください。

- ・最後のお別れ：7
- ・ドライアイス、副葬品等を入れるとき：4
- ・位置確認：3
- ・献花時：1
- ・台車にご遺体を乗せる際：1

[設問 5-4] ご遺体の取扱いに係る基準・手順はありますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
ある	2	0	0	0	2	4	1	9
ない	4	2	0	0	0	0	1	7
分からない	1	0	0	1	0	0	0	2
合計	7	2	0	1	2	4	2	18

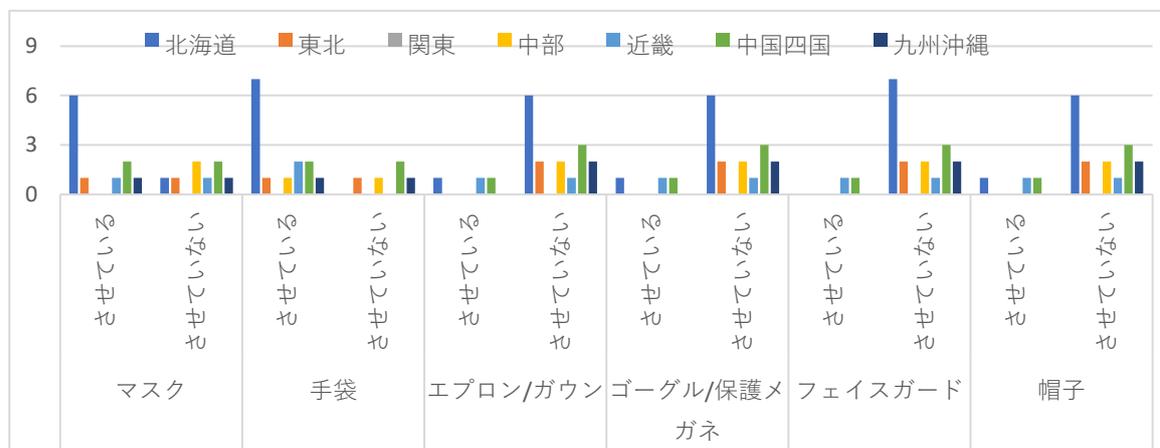


「ある」と答えた方にお聞きします。ご遺体の取扱いに係る基準・手順について具体的に教えてください。

- ・棺に必ず納棺し、遺体には触らない。
- ・感染症等による取扱い
- ・葬儀会社しだい
- ・通常の場合、火葬する前に棺桶内の確認をしてお別れの儀を行う。
- ・マニュアルにより実施
- ・委託業者でマニュアルを作成している。
- ・仕様書に簡素に記載している。
- ・必要に応じ、感染予防対応を行っている。

[設問 5-5] ご遺体に触れる際に作業員に以下の個人保護具を使用させていますか。[マスク]、
[手袋]、[エプロン/ガウン]、[ゴーグル/保護メガネ]、[フェイスガード]、[帽子]

地域名		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
マスク	させている	6	1	0	0	1	2	1	11
	させていない	1	1	0	2	1	2	1	8
手袋	させている	7	1	0	1	2	2	1	14
	させていない	0	1	0	1	0	2	1	5
エプロン/ ガウン	させている	1	0	0	0	1	1	0	3
	させていない	6	2	0	2	1	3	2	16
ゴーグル/ 保護メガネ	させている	1	0	0	0	1	1	0	3
	させていない	6	2	0	2	1	3	2	16
フェイス ガード	させている	0	0	0	0	1	1	0	2
	させていない	7	2	0	2	1	3	2	17
帽子	させている	1	0	0	0	1	1	0	3
	させていない	6	2	0	2	1	3	2	16



[設問 5-6] 過去にご遺体取扱い時に作業員に感染が発生したと思われる事例がありますか。

地域名		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
ある		0	0	0	0	0	1	0	1
ない		7	2	0	1	2	3	2	17
合計		7	2	0	1	2	4	2	18

「ある」と答えた方にお聞きします。作業員に感染が発生した事例について、具体的に教えてください。

回答なし。

[設問 5-7] ご遺体に触れる作業員について、ご遺体の体液（血液、尿、排泄物、分泌物）に触れることがありますか。

地域名		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
しばしばある		0	0	0	0	0	0	0	0
たまにある		0	0	0	0	0	0	0	0
ほとんどない		4	1	0	0	0	2	0	7
ない		3	1	0	2	2	2	2	12
合計		7	2	0	2	2	4	2	19

[設問 5-8] 燃焼室下部等に明らかに火葬前のご遺体の体液等の付着がありますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
しばしばある		2	0	0	1	1	0	1	5
まれにある (年に数回程度)		6	11	8	9	9	3	4	50
ない		48	53	34	37	31	30	31	264
その他		5	5	6	4	3	8	4	35
合計		61	69	48	51	44	41	40	354

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
しばしばある		3.3%	0.0%	0.0%	2.0%	2.3%	0.0%	2.5%	1.4%
まれにある (年に数回程度)		9.8%	15.9%	16.7%	17.6%	20.5%	7.3%	10.0%	14.1%
ない		78.7%	76.8%	70.8%	72.5%	70.5%	73.2%	77.5%	74.6%
その他		8.2%	7.2%	12.5%	7.8%	6.8%	19.5%	10.0%	9.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他 作業員からの報告なし、記録なし：4

入替前の火葬炉ではまれにあったが、入替後の火葬炉ではない。：1

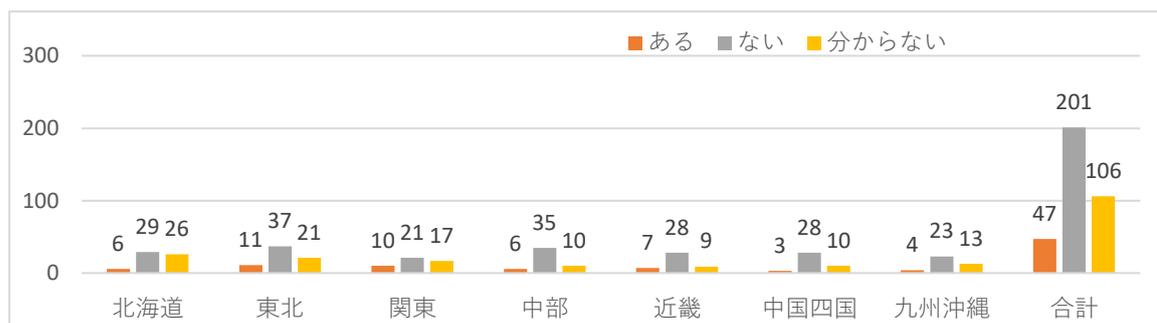
焼却中、少量の体液の飛散がみられる場合がある。：1 不明、分からない：29



[設問 5-9] 棺の取扱いについて基準（棺の消毒、作業員側の取扱い手順、体液が漏れた場合の対応、棺が壊れた場合の対応等）はありますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
ある		6	11	10	6	7	3	4	47
ない		29	37	21	35	28	28	23	201
分からない		26	21	17	10	9	10	13	106
合計		61	69	48	51	44	41	40	354

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
ある		9.8%	15.9%	20.8%	11.8%	15.9%	7.3%	10.0%	13.3%
ない		47.5%	53.6%	43.8%	68.6%	63.6%	68.3%	57.5%	56.8%
分からない		42.6%	30.4%	35.4%	19.6%	20.5%	24.4%	32.5%	29.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



「ある」と答えた方にお聞きします。棺の取扱い基準について具体的に教えてください。

厚生労働省指針に基づく：6

マニュアル、ガイドラインに基づく：4

感染症関係：10

棺の寸法、重量：4

体液が漏れた場合の対応、消毒：4 棺を載せる台を消毒：3

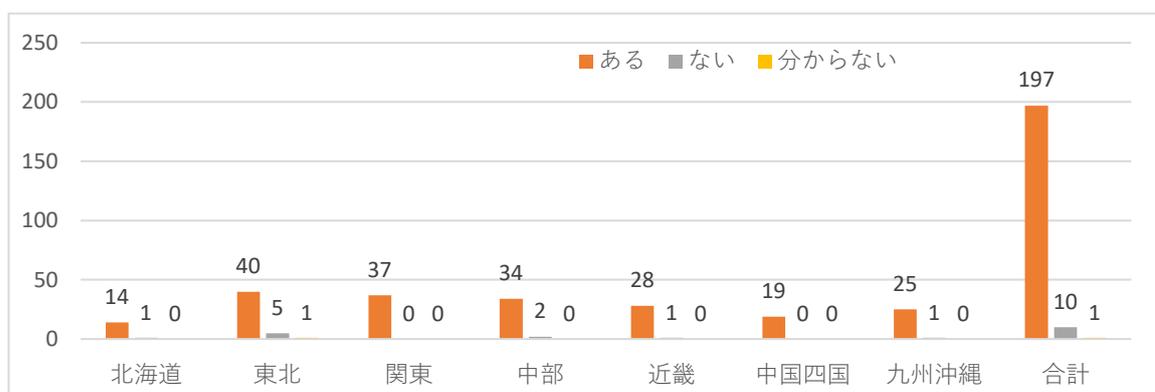
遺体の状態により葬儀屋との情報交換し、傷んでいる場合は納体袋に入れてもらう。：2

異常があった場合は葬儀会社へ連絡して対応を依頼している。：1

その他手袋その他防具着用等

[設問 5-10] 炉周辺の作業に対する暑熱環境への対策を行っていますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
ある		14	40	37	34	28	19	25	197
ない		1	5	0	2	1	0	1	10
分からない		0	1	0	0	0	0	0	1
合計		15	46	37	36	29	19	26	208



「行っている」と答えた方にお聞きします。暑熱環境への対策について具体的に教えてください。

・空調設備：72

・スポットクーラー：47

・換気：26

・換気扇：2

・扇風機：26

・厚生労働省の指針に基づく：1

・シャワー室等の設置：1

・ファン付き作業着：1

・熱中症対策用品の配置：6

その他

火葬使用後の炉周辺作業をする際は冷却機を操作し炉内を冷やしてから作業を行う。

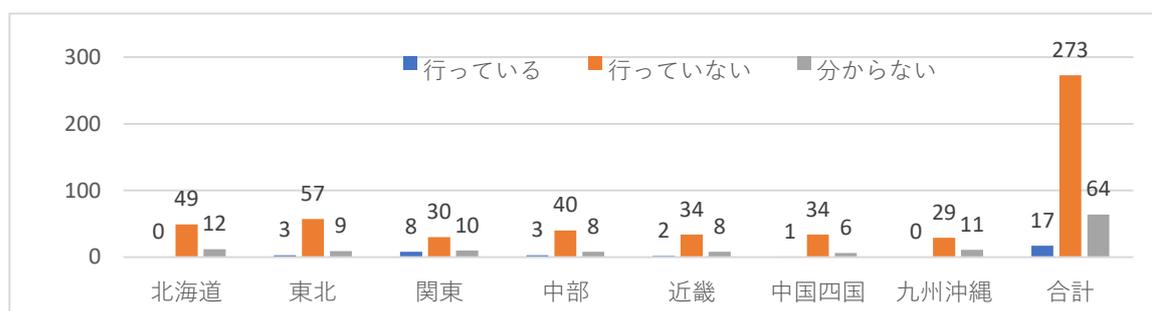
作業可能な温度まで冷却されるのを待ち、革のジャンパーを着用している。

炉内清掃は100度以下になってから行うこととしている。

[設問 5-11] 炉周辺の作業について、粉じんに関する作業環境測定を行っていますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
行っている	0	3	8	3	2	1	0	17
行っていない	49	57	30	40	34	34	29	273
分からない	12	9	10	8	8	6	11	64
合計	61	69	48	51	44	41	40	354

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
行っている	0.0%	4.3%	16.7%	5.9%	4.5%	2.4%	0.0%	4.8%
行っていない	80.3%	82.6%	62.5%	78.4%	77.3%	82.9%	72.5%	77.1%
分からない	19.7%	13.0%	20.8%	15.7%	18.2%	14.6%	27.5%	18.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



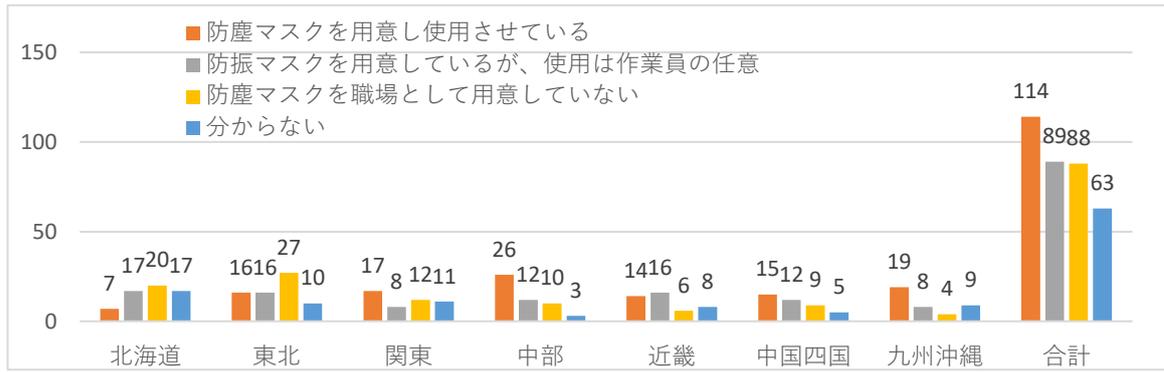
「行っている」と答えた方にお聞きします。直近の測定結果を教えてください。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
第一管理区分	0	2	8	3	2	1	0	16
第二管理区分	0	0	0	0	0	0	0	0
第三管理区分	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	0	3	8	3	2	1	0	17

[設問 5-12] 炉周辺の作業員に対して、粉じん対策として保護具を用意していますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
防塵マスクを用意し使用させている	7	16	17	26	14	15	19	114
防振マスクを用意しているが、使用は作業員の任意	17	16	8	12	16	12	8	89
防塵マスクを職場として用意していない	20	27	12	10	6	9	4	88
分からない	17	10	11	3	8	5	9	63
合計	61	69	48	51	44	41	40	354

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
防塵マスクを用意し使用させている	11.5%	23.2%	35.4%	51.0%	31.8%	36.6%	47.5%	32.2%
防振マスクを用意しているが、使用は作業員の任意	27.9%	23.2%	16.7%	23.5%	36.4%	29.3%	20.0%	25.1%
防塵マスクを職場として用意していない	32.8%	39.1%	25.0%	19.6%	13.6%	22.0%	10.0%	24.9%
分からない	27.9%	14.5%	22.9%	5.9%	18.2%	12.2%	22.5%	17.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



7 火葬場における遺体安置について【設問 6-1～13】

- (1) 遺体安置設備の有無は、「ある」が 143 件 (40.4%)、「ない」が 211 件 (59.6%) である。

遺体安置設備の機能は、「遺体冷蔵庫」が 105 件、「遺体安置室であり部屋全体が冷蔵機能を持っている」が 10 件、「部屋に冷蔵機能はない」が 22 件である。

- (2) 遺体安置設備の収容能力は平均 2.1 体 (1～14 体) である。令和 4 年度の安置実績は平均 73.8 体 (0～1,115 体) である。平均の安置 (待機) 期間は平均 1.7 日 (0～30 日) であり、最大の安置 (待機) 期間は平均 5.9 日 (0～180 日) である。

- (3) 安置 (待機) 時間の近年変化は、「増加している」が 7 件、「あまり変化はない」が 131 件、「減っている」が 5 件である。

「安置 (待機) 時間が増加している」場合の増加程度は、「5 割増し」、「2～3 年前と比較して 1.5 倍」、「微増」、「若干」等である。

- (4) 安置 (待機) 時間の長いことの支障の有無は、「ある」が 23 件、「ない」が 79 件である。

「支障がある」場合の生じる支障は、「次の遺体が安置できない」が 16 件、「電力使用量の増加」が 2 件である。支障が生じる頻度は平均 16.8 回/年 (最大 261 回/年) であり、支障が生じる安置 (待機) 時間の長さは平均 4.1 日 (最大 30 日) である。

- (5) 遺体安置設備の利用者は、「通常の火葬」が 89 件、「身寄りのない遺体等、福祉関係」が 79 件、「警察関係」が 33 件である。

遺体安置の目的は、「火葬の順番待ち」が 60 件、「遺族が揃うまで」が 45 件、「火葬の許可が出るまで」が 41 件である。

- (6) 遺体安置設備の整備予定は、「増設を予定」が 3 件、「増設を検討中」が 7 件、「整備予定はない」が 126 件である。「増設を予定」の増設遺体数は、全国合計で 5 体分である。

- (7) 遺体安置の受け入れ条件は、「遺体が棺に収納」が 111 件、「柩の大きさが許容範囲内」が 100 件、「受入時間帯の厳守」が 100 件、「利用者制限の厳守」が 71 件、「安置期間が明らか」が 75 件、「遺体の保管状況が明らか」が 40 件である。

- (8) 安置される遺体の管理上の基準の有無は、「室 (装置) 内温度」が 48 件、「面会の制限 (人数、時間等) の遵守」が 45 件、「故人名を貼り付ける (遺体の取り違い防止)」が 44 件、「室 (装置) 内の消毒、清掃等、衛生基準」が 21 件、「(遺体冷蔵庫で保管する場合) 棺内の保冷剤を取り除く」が 17 件、「(遺体冷蔵庫がない場合) 保冷剤等で棺内を冷やす」が 9 件、「防護服や手袋の着用等、遺体を取り扱う作業者の衛生基準」が 9 件である。

「室 (装置) 内温度」は、平均 3.5℃ (-5～22℃) である。

「室 (装置) 内の消毒、清掃等、衛生基準」は、「装置内の殺菌、消毒、清掃」が 8 件、「アルコール、次亜塩素酸ナトリウム等で消毒」が 7 件、「消毒液、防臭剤の噴霧」が 2 件、「臭気除去、換気」が 4 件などである。

「防護服や手袋の着用等、遺体を取り扱う作業者の衛生基準」は、「厚生労働省のガイドラインに基づく」が2件、「手袋の着用」が3件、「防護服、マスクの着用」が1件などである。

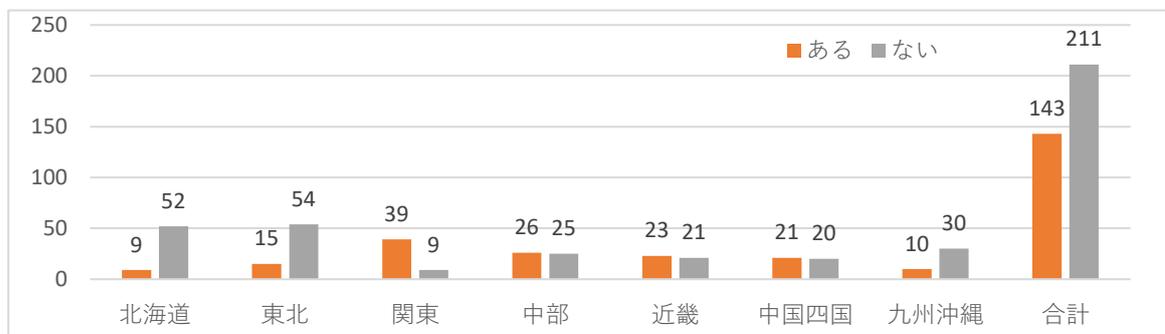
- (9) 遺体安置へのドライアイスの使用は、「使用する」が14件、「使用しない」が83件である。「使用する」場合の使用量は、夏季が平均8.7kg（最大40kg）、春秋が平均6.2kg（最大30kg）、冬季が平均5.2kg（最大20kg）である。
- (10) 直近2カ月における遺体安置設備の環境への利用者や作業員から意見・要望等の有無は、「あった」は「温度」が1件、「湿度」が0件、「換気」が2件、「臭気」が5件、「衛生全般」が2件である。
- (11) 遺体安置設備のない火葬場で今後の整備予定の有無は、「数年中に整備する予定」が1件、「整備を検討中」が2件、「整備する予定はない」が45件である。

問6 火葬場における遺体安置について伺います。（人体火葬についてのみお答えください。）

[設問6-1] 遺体安置設備はありますか。

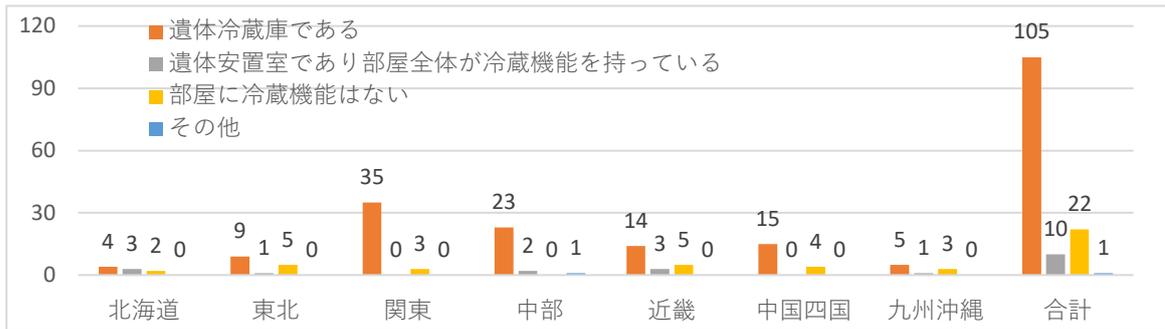
区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
ある		9	15	39	26	23	21	10	143
ない		52	54	9	25	21	20	30	211
合計		61	69	48	51	44	41	40	354

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
ある		14.8%	21.7%	81.3%	51.0%	52.3%	51.2%	25.0%	40.4%
ない		85.2%	78.3%	18.8%	49.0%	47.7%	48.8%	75.0%	59.6%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



[設問6-2] 遺体安置設備とは遺体冷蔵庫ですか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
遺体冷蔵庫である		4	9	35	23	14	15	5	105
遺体安置室であり部屋全体が冷蔵機能を持っている		3	1	0	2	3	0	1	10
部屋に冷蔵機能はない		2	5	3	0	5	4	3	22
その他		0	0	0	1	0	0	0	1
合計		9	15	38	26	22	19	9	138



[設問 6-3] 遺体安置設備の収容能力を教えてください。(ご遺体〇体分)

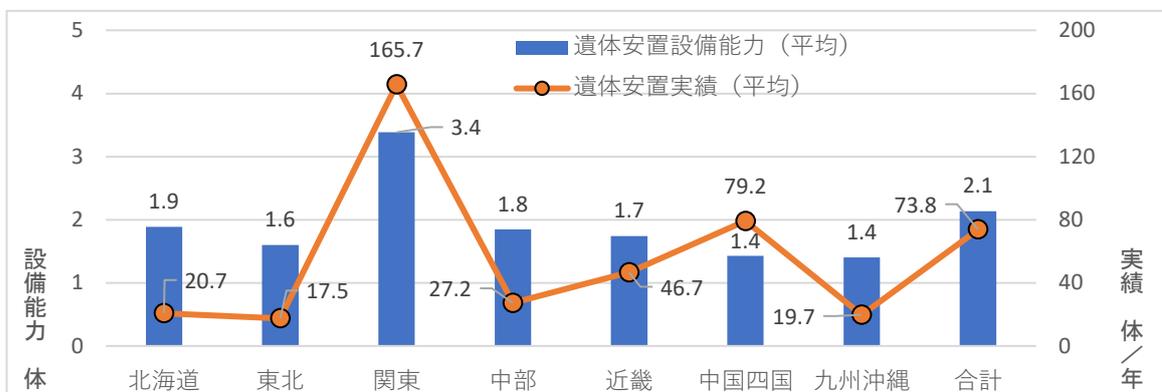
[設問 6-4] 令和 4 年度における安置ご遺体数の実績を教えてください。(〇体)

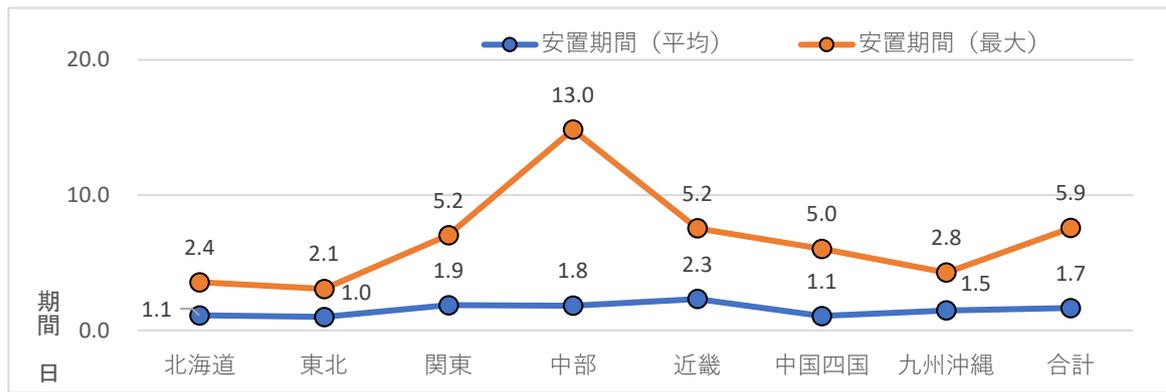
[設問 6-5] 火葬場での安置 (待機) 時間について教えてください。

[設問 6-5-1] 平均の遺体安置 (待機) 期間を教えてください。日数または時間でご入力ください。

[設問 6-5-2] 最大の 遺体安置 (待機) 期間を教えてください。日数または時間でご入力ください。

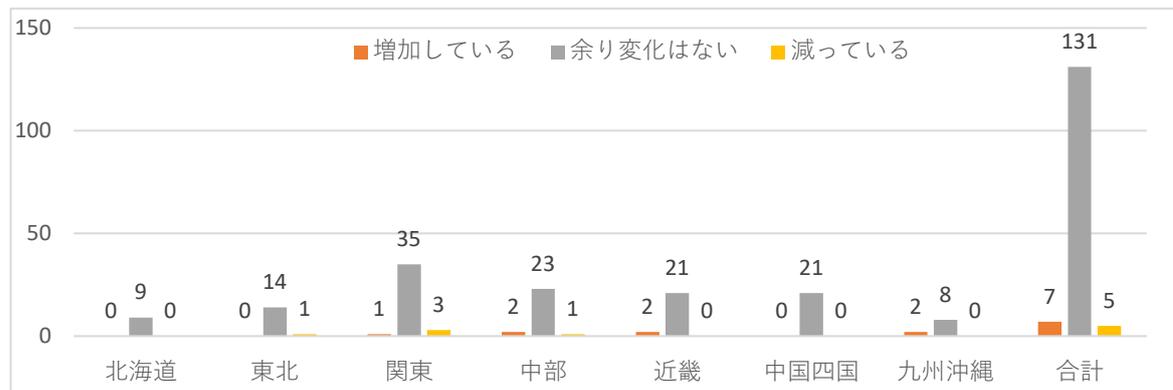
区分		地域名							合計
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	
遺体安置設備能力 単位：体	回答数	9	15	39	26	23	21	10	143
	平均	1.9	1.6	3.4	1.8	1.7	1.4	1.4	2.1
	最大	6	3	14	12	5	4	3	14
	最小	1	1	1	1	1	1	1	1
遺体安置実績 単位：体	回答数	9	15	39	26	23	21	10	143
	平均	20.7	17.5	165.7	27.2	46.7	79.2	19.7	73.8
	最大	58	135	1,059	201	197	1,115	60	1,115
	最小	0	0	0	0	0	0	0	0
安置期間 (平均) 単位：日	回答数	9	15	39	26	23	21	10	143
	平均	1.1	1.0	1.9	1.8	2.3	1.1	1.5	1.7
	最大	2	3	5.9	8	30	4.7	7	30
	最小	0	0	0	0	0	0	0	0
安置期間 (最大) 単位：日	回答数	9	15	39	26	23	21	10	143
	平均	2.4	2.1	5.2	13.0	5.2	5.0	2.8	5.9
	最大	7	7	35	180	60	43	7	180
	最小	0	0	0	0	0	0	1	0





[設問 6-6] 上記の安置（待機）時間について、近年変化は見られますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
増加している		0	0	1	2	2	0	2	7
余り変化はない		9	14	35	23	21	21	8	131
減っている		0	1	3	1	0	0	0	5
合計		9	15	39	26	23	21	10	143



「安置（待機）時間が増加している」と答えた方にお聞きします。

どの程度増加していますか。

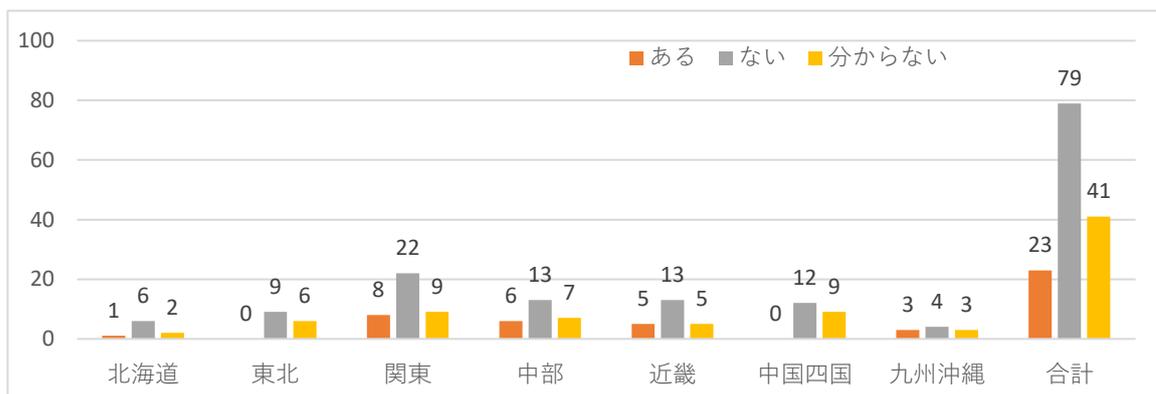
- ・対象範囲を条例改正したため、年に1件だった対応数が年6件に増加した。
- ・5割増し
- ・2~3年前と比較して1.5倍
- ・微増
- ・若干
- ・遺族が遠方のため
- ・約24時間

「安置（待機）時間が減っている」と答えた方にお聞きします。どの程度減っていますか。

- ・コロナ対策として使ったが、5類以降により使用が減った。
- ・令和3年度より13件減少
- ・昨年度と比較し平均0.7日/件ほど減少している。
- ・通夜式の減少に伴い、減っている。
- ・不明

[設問 6-7] 安置（待機）時間が長いことで支障が生じることはありますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	合計
ある		1	0	8	6	5	0	3	23
ない		6	9	22	13	13	12	4	79
分からない		2	6	9	7	5	9	3	41
合計		9	15	39	26	23	21	10	143



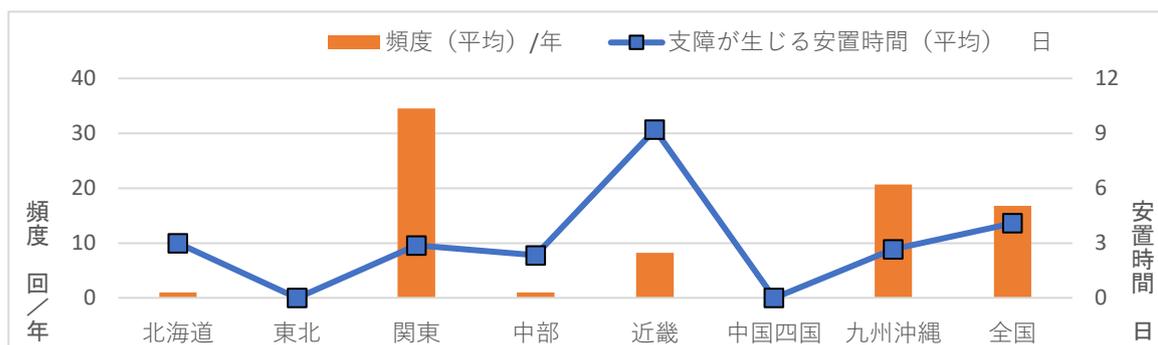
〔設問 6-8〕「安置（待機）時間が長いことで支障が生じることがある」と答えた方にお聞きします。その内容や頻度を教えてください。

① 生じる支障はどのようなことですか。

- ・次のご遺体が安置できない：16
- ・遺族のコスト：1
- ・ご遺体に対する影響：2
- ・電力使用量の増加：2
- ・冷蔵設備がなくドライアイス等の補充が必要：1
- ・冷蔵庫が1台なので：1
- ・霊安室が使えない、なぜ火葬をしないのか：1
- ・告別式上に隣接している安置室のため、告別式の前々日の利用は、他の告別式利用者とかぶってしまう：1

② 頻度（○回程度／年）、③ 支障が生じる安置（待機）時間の長さ（○日程度）

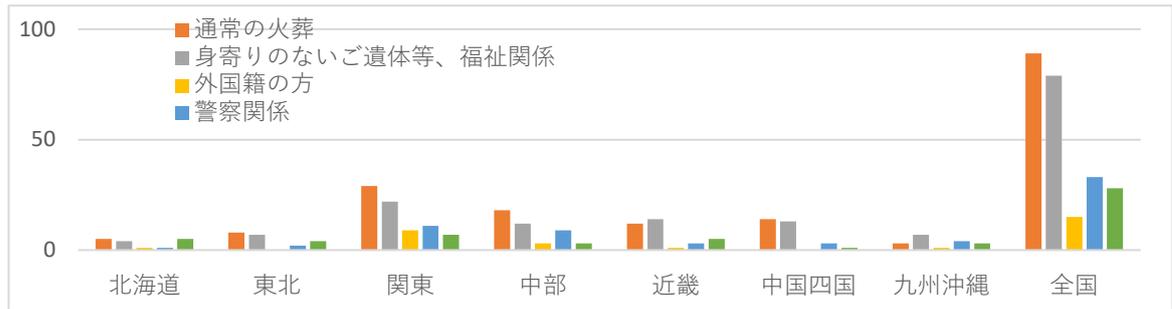
区分	地域名								全国
	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄		
頻度 回/年	回答数	1	0	8	6	5	0	3	23
	平均	1	0	34.5	1	8.2	0	20.7	16.8
	最大	1	0	261	3	23	0	60	261
支障が 生じる 安置時間 単位：日	回答数	1	0	8	6	5	0	3	23
	平均	3	0	2.9	2.3	9.2	0	2.7	4.1
	最大	3	0	10	8	30	0	4	30



問7 遺体安置設備の利用者について伺います。

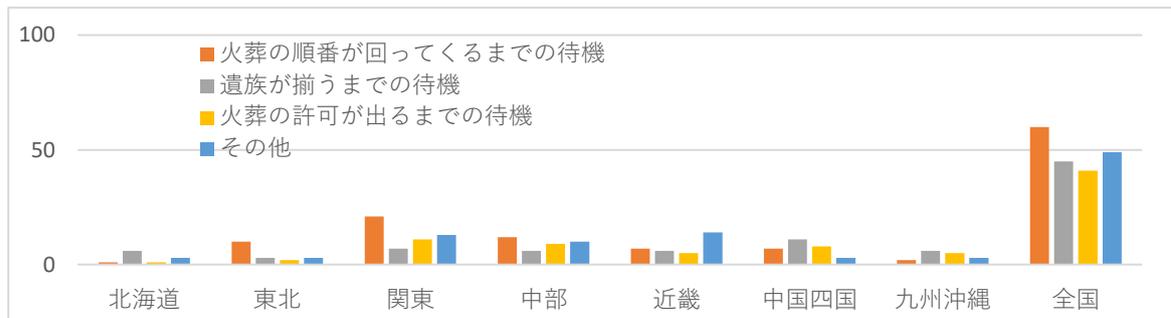
[設問 7-1] 安置されるのは、どのようなご遺体ですか。(複数回答可)

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
通常の火葬		5	8	29	18	12	14	3	89
身寄りのないご遺体等、福祉関係		4	7	22	12	14	13	7	79
外国籍の方		1	0	9	3	1	0	1	15
警察関係		1	2	11	9	3	3	4	33
その他		5	4	7	3	5	1	3	28
合計		16	21	78	45	35	31	18	244



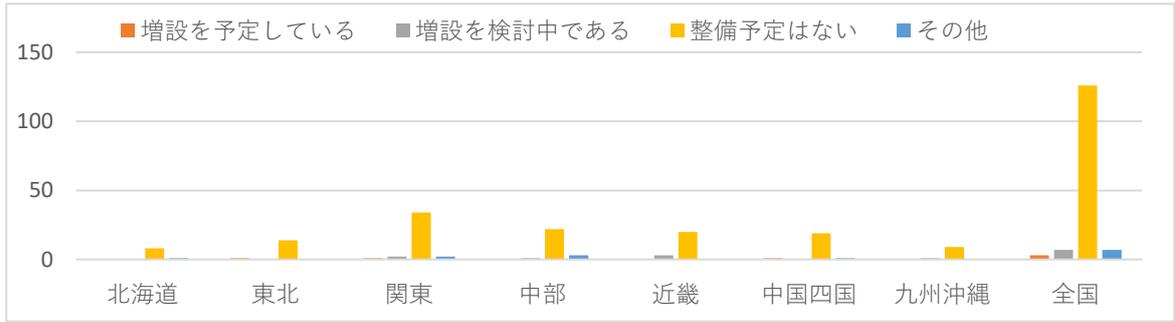
[設問 7-2] 遺体安置の目的は何ですか。(複数回答可)

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
火葬の順番が回ってくるまでの待機		1	10	21	12	7	7	2	60
遺族が揃うまでの待機		6	3	7	6	6	11	6	45
火葬の許可が出るまでの待機		1	2	11	9	5	8	5	41
その他		3	3	13	10	14	3	3	49
合計		11	18	52	37	32	29	16	195



[設問 8] 現在使用中の遺体安置設備の今後の整備予定はありますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
増設を予定している		0	1	1	0	0	1	0	3
増設を検討中である		0	0	2	1	3	0	1	7
整備予定はない		8	14	34	22	20	19	9	126
その他		1	0	2	3	0	1	0	7
合計		9	15	39	26	23	21	10	143

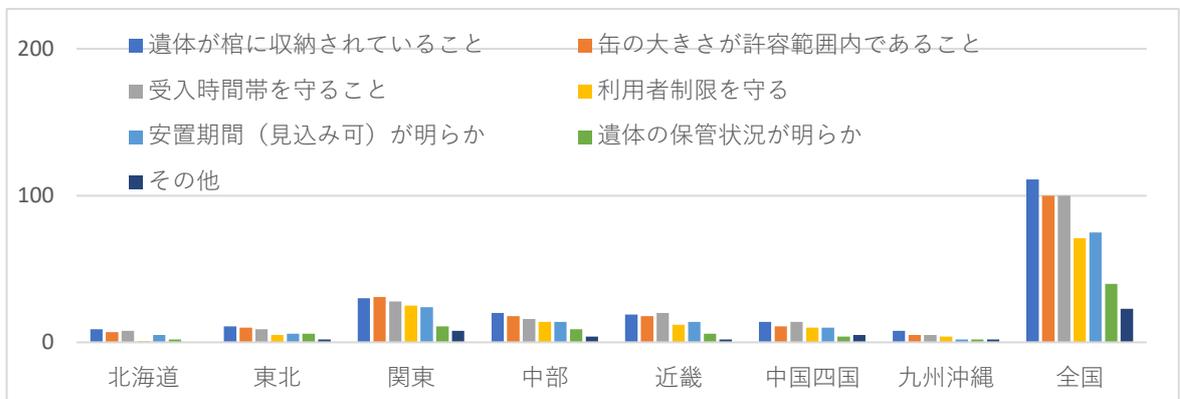


「増設を予定している」と答えた方にお聞きします。増設数をご遺体何体分ですか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
増設遺体数		0	2	2	0	0	1	0	5

[設問 9] 遺体安置を受け入れる際の条件はありますか。(複数回答可)

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
遺体が棺に収納されていること		9	11	30	20	19	14	8	111
棺の大きさが許容範囲内であること		7	10	31	18	18	11	5	100
受入時間帯を守ること		8	9	28	16	20	14	5	100
利用者制限を守る		1	5	25	14	12	10	4	71
安置期間（見込み可）が明らか		5	6	24	14	14	10	2	75
遺体の保管状況が明らか		2	6	11	9	6	4	2	40
その他		0	2	8	4	2	5	2	23
合計		32	49	157	95	91	68	28	520

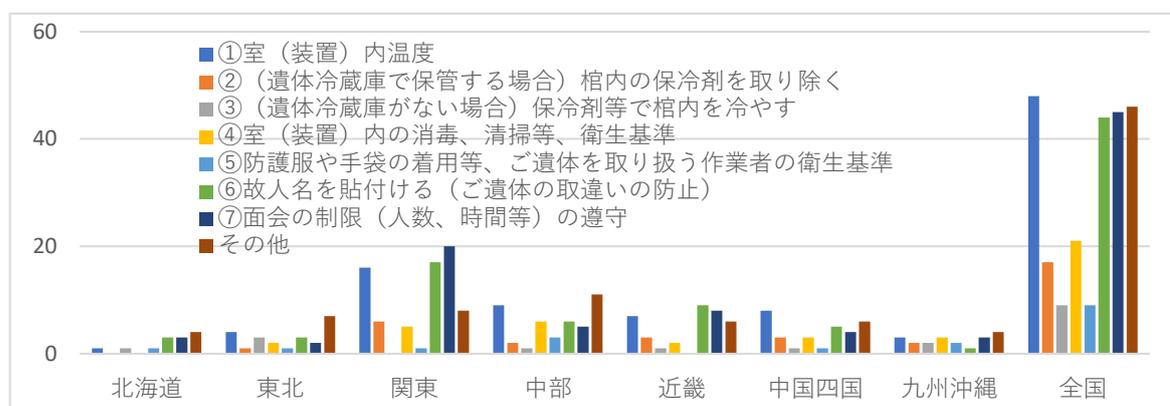


[設問 10] 安置されるご遺体の管理上の基準はありますか。(複数回答可)

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
①室(装置)内温度		1	4	16	9	7	8	3	48
②(遺体冷蔵庫で保管する場合)棺内の保冷剤を取り除く		0	1	6	2	3	3	2	17
③(遺体冷蔵庫がない場合)保冷剤等で棺内を冷やす		1	3	0	1	1	1	2	9
④室(装置)内の消毒、清掃等、衛生基準		0	2	5	6	2	3	3	21
⑤防護服や手袋の着用等、ご遺体を取り扱う作業者の衛生基準		1	1	1	3	0	1	2	9
⑥故人名を貼付ける(ご遺体の取違いの防止)		3	3	17	6	9	5	1	44
⑦面会の制限(人数、時間等)の遵守		3	2	20	5	8	4	3	45
その他		4	7	8	11	6	6	4	46
合計		13	23	73	43	36	31	20	239

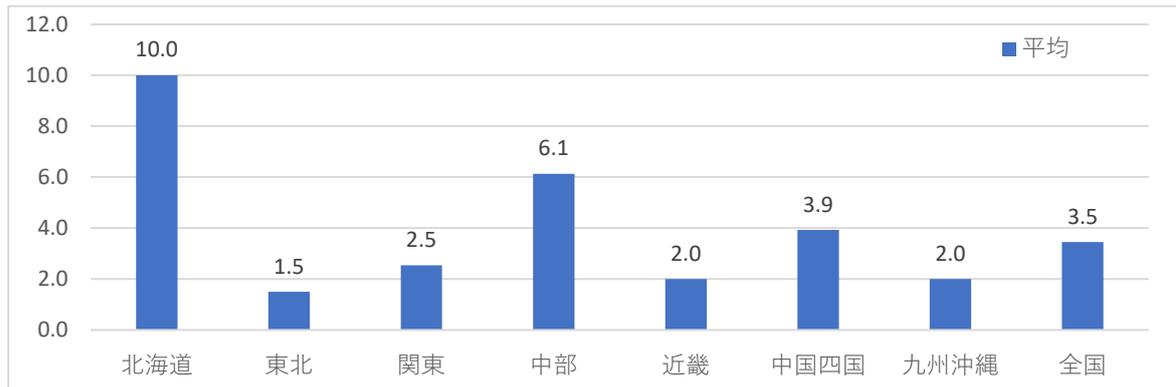
その他

- ・特になし、基準はない：22
- ・わからない、詳細不明：4
- ・状況による：2
- ・ご遺体の受入れ時間(8:30~16:00)
- ・搬入者及びご遺体の身元確認
- ・棺に入っていること
- ・ドライアイスを入れるよう指示する。1日以上の場合は毎日。
- ・使用実績がないことから、基準を定めていない。
- ・遺体安置を受け入れていないため、基準はない。



「①室(装置)内温度」を選んだ方にお聞きします。室(装置)内温度の基準は何℃ですか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
回答数		1	2	14	8	7	7	3	42
平均		10.0	1.5	2.5	6.1	2.0	3.9	2.0	3.5
最高		10	3	5	22	5	10	5	22
最低		10	0	-5	0	-5	0	-2	-5



「④室（装置）内の消毒、清掃等、衛生基準」を選んだ方にお聞きします。具体的に教えてください。回答数：17

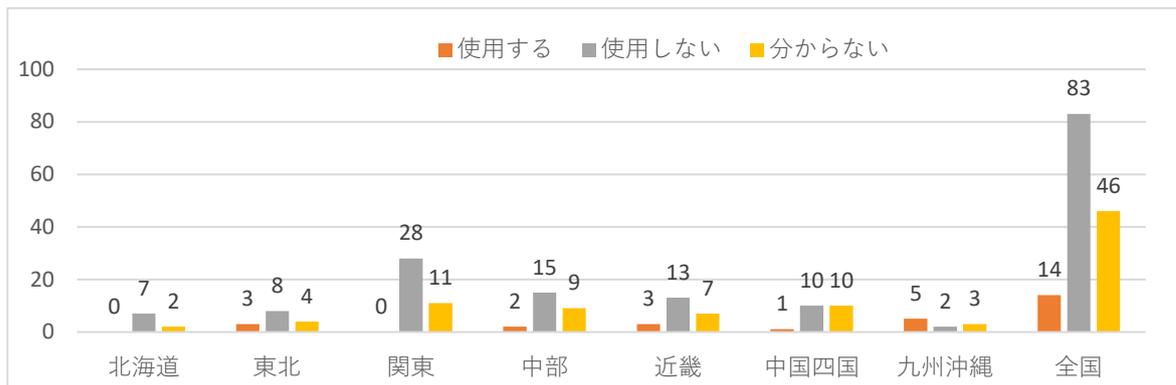
- ・装置内の殺菌、消毒、清掃：8
- ・アルコール、次亜塩素酸ナトリウム等で消毒：7
- ・消毒液、防臭剤の噴霧：2
- ・臭気除去、換気：4
- ・棺から体液等が漏れるなどの装置が汚れないための措置
- ・棺に入れる。
- ・体液が出ない状態であること

「⑤防護服や手袋の着用等、ご遺体を取り扱う作業者の衛生基準」を選んだ方にお聞きします。具体的に教えてください。回答数：7

- ・厚生労働省のガイドラインに基づく：2
- ・手袋の着用：3
- ・防護服・マスクの着用
- ・新型コロナウイルス感染者のみ

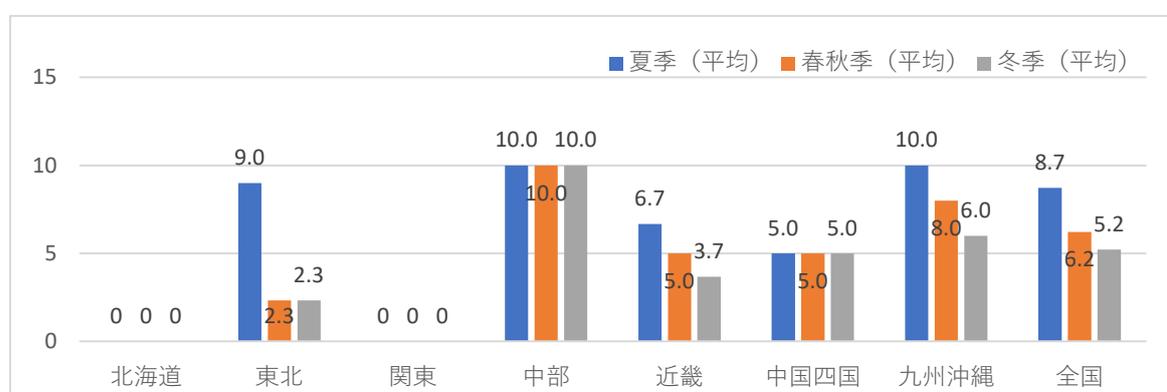
[設問 11] ご遺体を安置するに当たり、ドライアイスを使用しますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
使用する	0	3	0	2	3	1	5	14
使用しない	7	8	28	15	13	10	2	83
分からない	2	4	11	9	7	10	3	46
合計	9	15	39	26	23	21	10	143



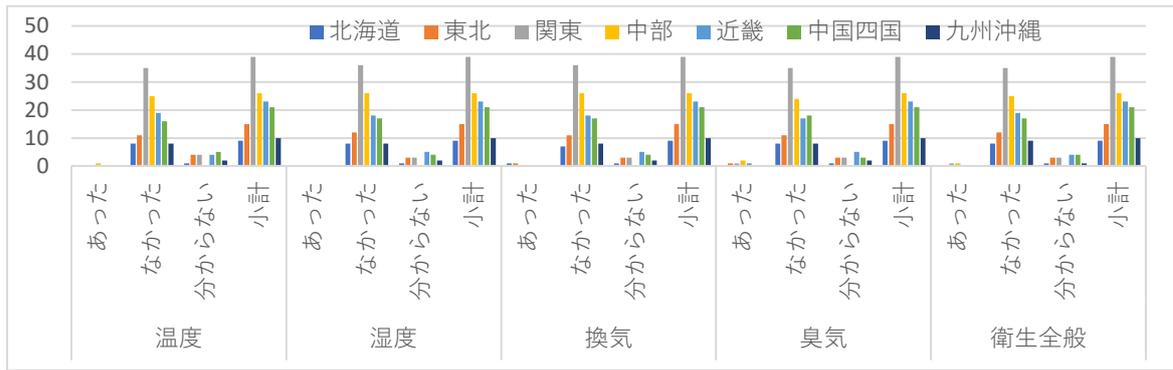
「使用する」と答えた方にお聞きします。夏季、春秋季、冬季の平均的な使用量をお答えください。

区分		地域名							
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
夏季	回答数	0	3	0	2	3	1	5	14
	平均	0	9.0	0	10.0	6.7	5.0	10.0	8.7
	最高	0	22	0	20	10	5	40	40
	最低	0	0	0	0	0	5	0	0
春秋季	回答数	0	3	0	2	3	1	5	14
	平均	0	2.3	0	10.0	5.0	5.0	8.0	6.2
	最高	0	5	0	20	10	5	30	30
	最低	0	0	0	0	0	5	0	0
冬季	回答数	0	3	0	2	3	1	5	14
	平均	0	2.3	0	10.0	3.7	5.0	6.0	5.2
	最高	0	5	0	20	10	5	20	20
	最低	0	0	0	0	0	5	0	0



[設問 12] 直近 2 カ月における遺体安置設備の環境について、利用者や作業員から意見・要望等がありましたか。

区分		地域名							
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
温度	あった	0	0	0	1	0	0	0	1
	なかった	8	11	35	25	19	16	8	122
	分からない	1	4	4	0	4	5	2	20
	小計	9	15	39	26	23	21	10	143
湿度	あった	0	0	0	0	0	0	0	0
	なかった	8	12	36	26	18	17	8	125
	分からない	1	3	3	0	5	4	2	18
	小計	9	15	39	26	23	21	10	143
換気	あった	1	1	0	0	0	0	0	2
	なかった	7	11	36	26	18	17	8	123
	分からない	1	3	3	0	5	4	2	18
	小計	9	15	39	26	23	21	10	143
臭気	あった	0	1	1	2	1	0	0	5
	なかった	8	11	35	24	17	18	8	121
	分からない	1	3	3	0	5	3	2	17
	小計	9	15	39	26	23	21	10	143
衛生全般	あった	0	0	1	1	0	0	0	2
	なかった	8	12	35	25	19	17	9	125
	分からない	1	3	3	0	4	4	1	16
	小計	9	15	39	26	23	21	10	143



[設問 12-1] 温度について利用者や作業員から意見・要望等がありましたか。「ある」を選んだ方にお伺いいたします。場所や状況を含めた具体的な内容をお答えください。

- ・ 出庫時のご遺体の状況が業者にて異なるため、温度設定を変更することがある。

[設問 12-2] 湿度について利用者や作業員から意見・要望等がありましたか。「ある」を選んだ方にお伺いいたします。場所や状況を含めた具体的な内容をお答えください。

- ・ 回答無し

[設問 12-3] 換気について利用者や作業員から意見・要望等がありましたか。「ある」を選んだ方にお伺いいたします。場所や状況を含めた具体的な内容をお答えください。

- ・ 安置室の 24 時間換気
- ・ 換気扇を稼働させる

[設問 12-4] 臭気について利用者や作業員から意見・要望等がありましたか。「ある」を選んだ方にお伺いいたします。場所や状況を含めた具体的な内容をお答えください。

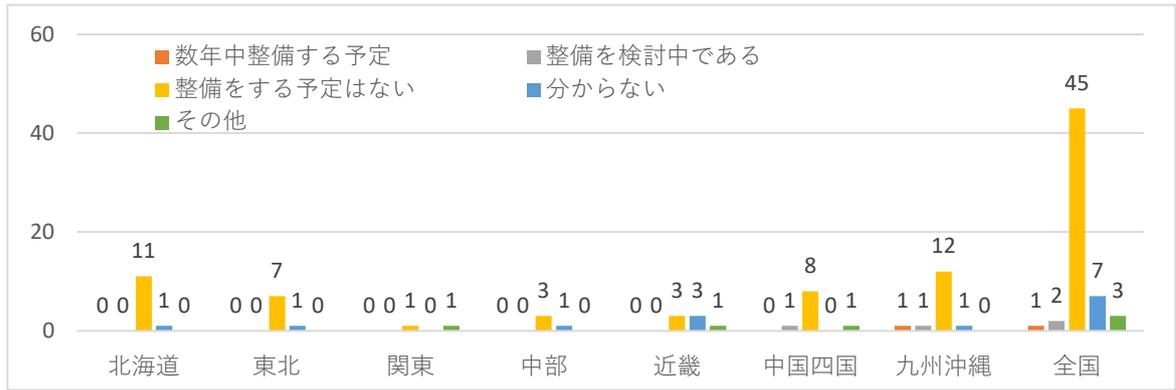
- ・ 死亡日から日が経っていると柩が密閉されていても臭気がある。
- ・ 遺族と連絡が取れず約 3 ヶ月霊安室で安置した結果、遺体が傷んだ。
- ・ 死亡から長期間経過し遺体が傷んでいた。
- ・ 匂いがあるので防臭剤を置いた。
- ・ 遺体冷蔵庫に安置する際に臭気が酷い時は、葬祭業者に消臭処置をしてもらう。

[設問 12-5] その他（衛生全般）について利用者や作業員から意見・要望等がありましたか。「ある」を選んだ方にお伺いいたします。場所や状況を含めた具体的な内容をお答えください。

- ・ 結露が発生し、棺が濡れ、シミのような跡が出来たケースあり。
- ・ 岡崎市での遺体安置における事件に関して当苑が収納対数を超えた場合の対象の葬儀社への協力要請。安価で遺体を預かっていただくこと。

[設問 13] 現在遺体安置設備を持っていない火葬場で、今後遺体安置設備を整備する予定はありますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
数年中に整備する予定	0	0	0	0	0	0	1	1
整備を検討中である	0	0	0	0	0	1	1	2
整備をする予定はない	11	7	1	3	3	8	12	45
分からない	1	1	0	1	3	0	1	7
その他	0	0	1	0	1	1	0	3
合計	12	8	2	4	7	10	15	58



その他

- ・ 遺体安置設備はあるが故障しており使用できない状況
- ・ 以前、霊安室として使用していた部屋があるが、現在は遺体安置の受け入れを行っていない。
- ・ 現在新火葬場を建設中で、当該施設には遺体安置所を整備

8 火葬場における残骨灰、集じん灰等の処理について【設問 14~22】

(1) 残骨灰と集じん灰の分別は、「分別している」が144件(40.7%)、「分別していない」が156件(44.1%)である。

(2) 残骨灰、集じん灰の発生量の把握は、「把握している」が118件(33.3%)、「把握していない」が162件(45.8%)である。

残骨灰、集じん灰の発生量の具体的な数値について、残骨灰は全国で平均4,068kg/年(最大52,198kg/年)であり、関東地区が平均5,797kg/年、中部地区が平均5,716kg/年である。集じん灰は全国で平均930kg/年であり、近畿地区が平均1,242kg/年、関東地区が平均1,219kg/年である。

(3) 残骨灰の処理処分は、「自ら処理処分している」が43件(12.1%)、「処理業者に委託している」が271件(76.6%)、「火葬場管理業者に委託」が16件(4.5%)、「売却している」が14件(4.0%)であり、その他として「保管施設で保管」が1件である。

(4) 残骨灰を「自ら処理処分をしている」場合の「処理方法」は、「高温処理」が11件、「そのまま埋立」が8件、「分別処理」が6件、「安定化处理」が2件である。

「残骨灰と有価物の分離」は、「行っている」が21件、「行っていない」が20件である。「行っている」場合の「有価物の保管または売却」は、「保管」が0件、「売却」が1件、「管理委託業者で保管、売却等」が9件、「処理費として充当」が6件である。有価物を売却している場合の売却益は、不明である。

残骨灰の最終的な処理方法は、「民間墓地で保管」が22件、「廃棄」が7件、「公営墓地で保管」が1件、「管理委託業者に任せる」が3件、「寺院で保管」が2件、「敷地内に保管」が2件などである。

(5) 残骨灰を「処理業者に委託している」場合の「処理処分状況の確認」は、「書面で確認」が161件、「処理工場、最終処分地まで確認」が74件、「処理工場は確認、最終処分地までは確認していない」が21件、「確認していない」が11件である。

処理業者の選考方法は、「随意契約」が149件、「複数業者による競争入札」が59件、「管理業務に含み管理業者が選定」が43件、「プロポーザルにて選定」が5件、「見積合せで選定」が3件などである。

処理業者への委託内容は、「処理業者が無害化处理し、処理後の残骨灰と有価物は処理業者が保管等」が147件、「処理業者に残骨灰(残骨灰に含まれる有価物を含む)を売却し、処理業者が無害化处理や保管等」が67件、「灰処理業者に任せる」が22件、「処理業者が無害化处理し、処理後の残骨灰と有価物は火葬場等に返却」が7件、「処理業者が無害化处理し、処理後の有価物は火葬場等に返却」が5件、「火葬場管理業者に任せる」が5件などである。

「処理業者が無害化处理し、処理後の残骨灰と有価物は火葬場等に返却」の場合、「処理業者に残骨灰と有価物の分離を行わせているか」は、「行わせている」が7件、「行わせていない」が1件である。「返却された有価物の保管または売却」は、「売却」が7件、「保管」が0件である。「売却益」の充当先は、「火葬場の施設整備」が4件、「一般財源に計上し、用途は定めていない」が3件である。「返却された残骨灰の最終

的な処理」は、「民間墓地で保管」が2件、「公営墓地で保管」が1件、「敷地内に収蔵」が5件である。過去5年間で「残骨灰の処理処分に関する入札または契約で1円または0円の金額になったこと」の有無は、「最低制限価格制度を導入しているため、ない」が5件、「ない（前記の場合を除く）」が2件、「3回以上ある」が1件であり、その他として「7回以上ある」が1件である。

「処理業者が無害化処理し、処理後の有価物は火葬場等に返却」の場合、「返却された有価物の保管または売却」は、「売却」が4件、「保管」が0件である。「有価物を売却している場合の売却益の充当先」は、「一般財源に計上しており用途は特定されていない」が4件、「火葬場の施設整備費に充てている」が0件である。

「処理業者に委託している」場合のすべてに対して、「処理業者による処理後の残骨灰の最終的な処理方法」は、「民間墓地で保管」が158件、「お寺、供養施設等で供養」が33件、「廃棄」が13件、「公営墓地で保管」が10件、「売却」が9件であり、その他として「リサイクル施設で再利用」が4件、「無害化処理」が2件、「適正に処理」が2件などである。過去5年間で「残骨灰の処理処分に関する入札または契約で1円または0円の金額になったこと」の有無は、「ない（最低制限価格制度の場合を除く）」が121件、「3回以上ある」が76件、「1、2回ある」が16件、「最低制限価格制度を導入しているため、ない」が8件、「無償で処理」が16件、「火葬場管理業務に含む」が15件であり、その他「入札無し」が5件などである。

- (6) 「残骨灰の処理方法について、地域住民などへの対外的な方針周知」は、「周知していない」が291件（82.2%）、「周知している」が33件（9.3%）である。

「残骨灰の処理方法についての遺族への説明」は、「希望があれば説明している」が193件（54.5%）、「説明していない」が109件（30.8%）、「説明している」が23件（6.5%）である。「残骨灰の処理方法についての遺族や地域住民からの意見・要望等」の有無は、「ある」17件（4.8%）、「ない」が337件（95.2%）である。

「遺族や地域住民からの意見・要望等」の内容は、「有価物を売却しすべき、してはどうか等」が7件、「1円または0円といった低価格で入札していることは問題」が3件、「残骨灰を遺体に準じた取扱い（墳墓等に埋葬する等）をするべき」が2件、「残骨灰から出た有価物の売却を行うことが問題」が1件である。「意見・要望等に基づき、残骨灰の処理の変更」は、「ある」が3件、「ない」が14件である。「意見・要望等に基づき、残骨灰の処理を変更したことがある」場合の変更前及び変更後の処理方法は、「残骨の収蔵供養を条件とする残骨灰を処理する業務委託」が2件、「有価物を売却し、売却益の返還」が1件である。

- (7) 「残骨灰の処理方法を見直す予定」は、「見直す予定はない」が251件（70.9%）、「見直しの具体的な予定は決まってないが、今後見直す予定」が36件（10.2%）、「見直しの予定が明確に決まっており、近日中に見直す予定」が7件（2.0%）である。

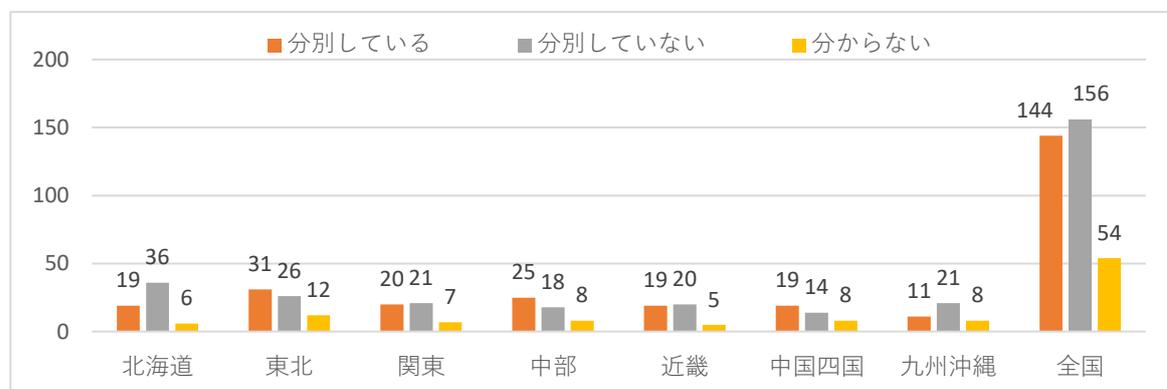
「残骨灰の処理方法を見直す場合、なぜ見直しを行うのか、どのように見直しを行うのか」は、「有価物について売却を検討」が13件、「有価物の売却益を維持補修費等の

財源とするため」が9件、「入札を検討」が4件、「複数の業者から選定」が3件、「検討中」が2件などである。

問8 火葬場における残骨灰、集じん灰等の処理について伺います。

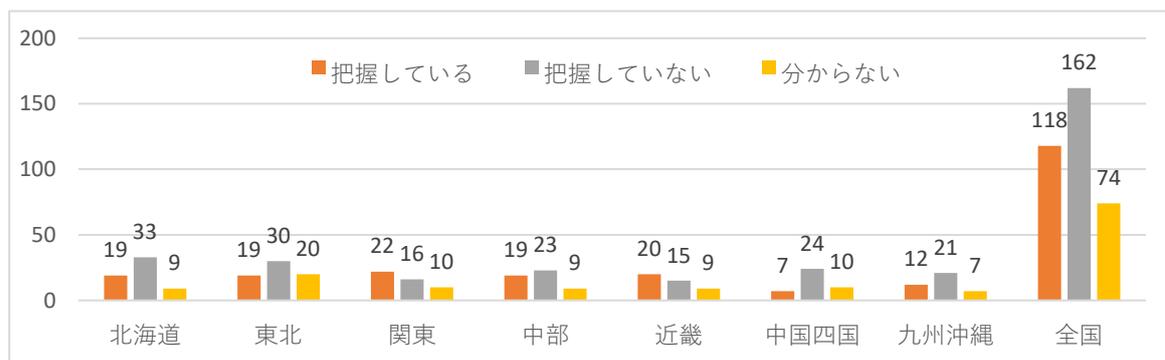
[設問14] 残骨灰と集じん灰を分別していますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
分別している		19	31	20	25	19	19	11	144
分別していない		36	26	21	18	20	14	21	156
分からない		6	12	7	8	5	8	8	54
合計		61	69	48	51	44	41	40	354
区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
分別している		31.1%	44.9%	41.7%	49.0%	43.2%	46.3%	27.5%	40.7%
分別していない		59.0%	37.7%	43.8%	35.3%	45.5%	34.1%	52.5%	44.1%
分からない		9.8%	17.4%	14.6%	15.7%	11.4%	19.5%	20.0%	15.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



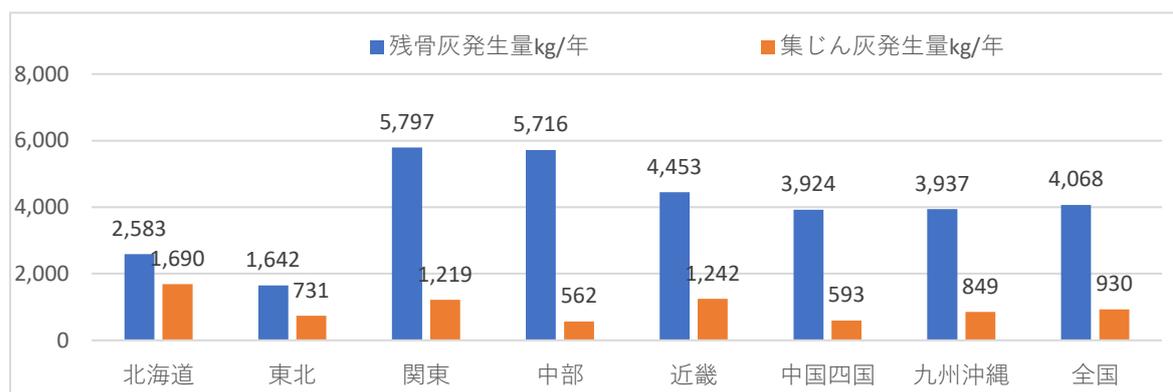
[設問15] 残骨灰、集じん灰の発生量を把握していますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
把握している		19	19	22	19	20	7	12	118
把握していない		33	30	16	23	15	24	21	162
分からない		9	20	10	9	9	10	7	74
合計		61	69	48	51	44	41	40	354
区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
把握している		31.1%	27.5%	45.8%	37.3%	45.5%	17.1%	30.0%	33.3%
把握していない		54.1%	43.5%	33.3%	45.1%	34.1%	58.5%	52.5%	45.8%
分からない		14.8%	29.0%	20.8%	17.6%	20.5%	24.4%	17.5%	20.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



残骨灰の発生量をお答えください。集じん灰の発生量をお答えください。

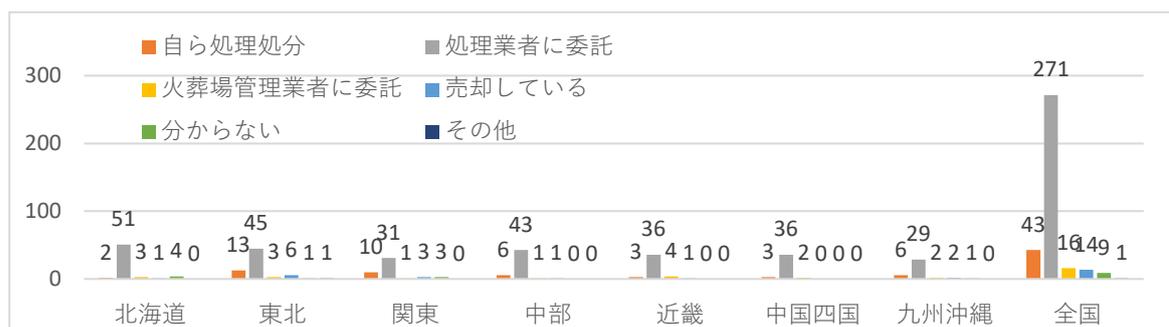
区分		地域名							全国
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	
残骨灰 (発生量) kg/年	回答数	19	19	22	19	19	7	10	115
	平均	2,583	1,642	5,797	5,716	4,453	3,924	3,937	4,068
	最高	17,986	7,427	11,382	52,198	16,845	11,500	15,055	52,198
	最低	1	1	1	6	35	287	50	1
集じん灰 (発生量) kg/年	回答数	4	12	14	11	7	6	10	64
	平均	1,690	731	1,219	562	1,242	593	849	930
	最高	5,499	2,860	3,230	1,152	4,980	2,000	3,471	5,499
	最低	60	2	60	50	50	63	50	2



[設問 16] 残骨灰はどのように処理処分していますか。

区分		地域名							全国
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	
自ら処理処分		2	13	10	6	3	3	6	43
処理業者に委託		51	45	31	43	36	36	29	271
火葬場管理業者に委託		3	3	1	1	4	2	2	16
売却している		1	6	3	1	1	0	2	14
分からない		4	1	3	0	0	0	1	9
その他		0	1	0	0	0	0	0	1
合計		61	69	48	51	44	41	40	354
区分		地域名							全国
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	
自ら処理処分		3.3%	18.8%	20.8%	11.8%	6.8%	7.3%	15.0%	12.1%
処理業者に委託		83.6%	65.2%	64.6%	84.3%	81.8%	87.8%	72.5%	76.6%
火葬場管理業者に委託		4.9%	4.3%	2.1%	2.0%	9.1%	4.9%	5.0%	4.5%
売却している		1.6%	8.7%	6.3%	2.0%	2.3%	0.0%	5.0%	4.0%
分からない		6.6%	1.4%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%
その他		0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他：保管施設で保管：1

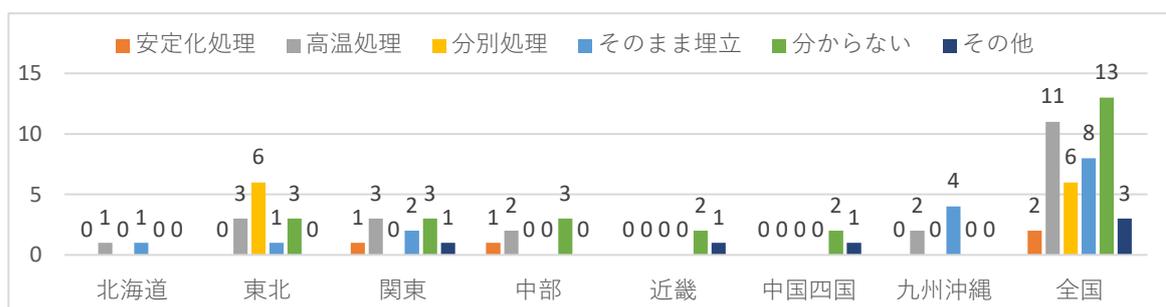


[設問 17] 自ら処理処分をしている場合

[設問 17-1] 処理方法は何ですか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
安定化処理		0	0	1	1	0	0	0	2
高温処理		1	3	3	2	0	0	2	11
分別処理		0	6	0	0	0	0	0	6
そのまま埋立		1	1	2	0	0	0	4	8
分からない		0	3	3	3	2	2	0	13
その他		0	0	1	0	1	1	0	3
合計		2	13	10	6	3	3	6	43

その他 ・指定管理者が対応：2 ・供養塔へ納骨：1



[設問 17-2] 残骨灰と有価物の分離を行っていますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
分離を行っている		0	10	5	4	0	1	1	21
分離を行っていない		2	3	5	3	1	1	5	20
その他		0	0	0	0	2	1	0	3
合計		2	13	10	7	3	3	6	44

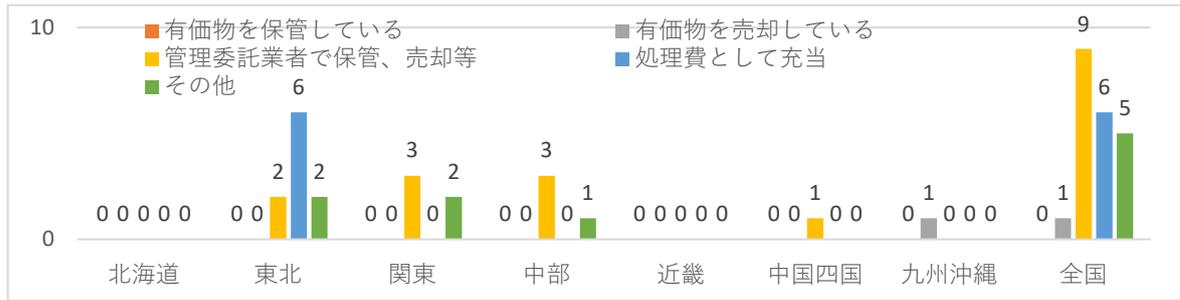
その他 ・業務委託のため把握してない。：3



[設問 17-3] 有価物は保管または売却をしていますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
有価物を保管している		0	0	0	0	0	0	0	0
有価物を売却している		0	0	0	0	0	0	1	1
管理委託業者で保管、売却等		0	2	3	3	0	1	0	9
処理費として充当		0	6	0	0	0	0	0	6
その他		0	2	2	1	0	0	0	5
合計		0	10	5	4	0	1	1	21

その他 ・リサイクルしている。：1 ・廃棄：2 ・把握していない。：2



[設問 17-4] 有価物を売却している場合、売却益は何の費用に充てていますか。

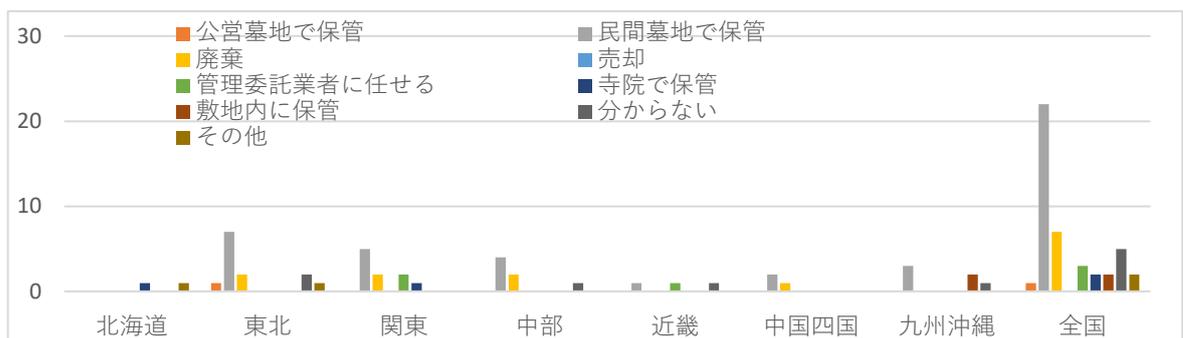
区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
火葬場の施設整備費に充てている		0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源に計上しており用途は特定されていない		0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	1	1
合計		0	0	0	0	0	0	1	1

その他 不明：1

[設問 17-5] 残骨灰について、最終的にどのように処理していますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
公営墓地で保管		0	1	0	0	0	0	0	1
民間墓地で保管		0	7	5	4	1	2	3	22
廃棄		0	2	2	2	0	1	0	7
売却		0	0	0	0	0	0	0	0
管理委託業者に任せる		0	0	2	0	1	0	0	3
寺院で保管		1	0	1	0	0	0	0	2
敷地内に保管		0	0	0	0	0	0	2	2
分からない		0	2	0	1	1	0	1	5
その他		1	1	0	0	0	0	0	2
合計		2	13	10	7	3	3	6	44

その他 ・灰処理業者が処理：1 ・未定：1

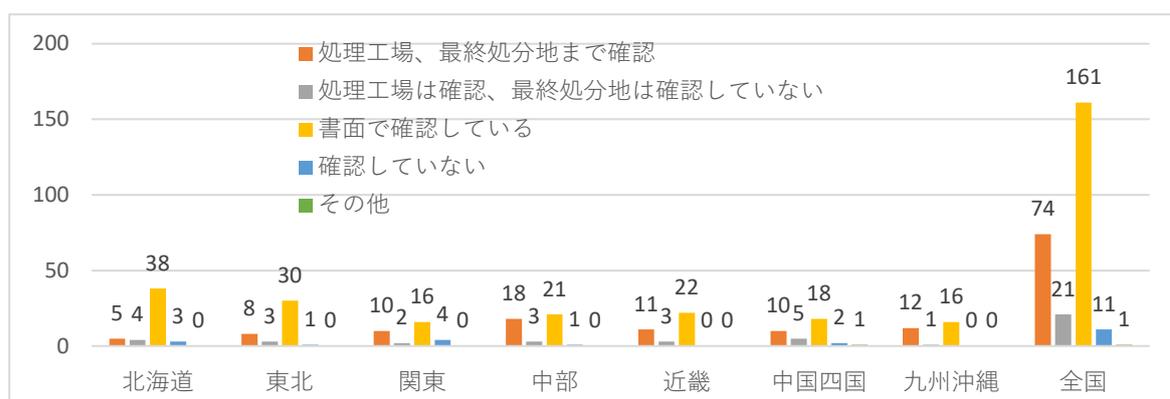


[設問 18] 処理業者に委託している場合

[設問 18-1] 処理処分状況の確認はしていますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
処理工場、最終処分地まで確認	5	8	10	18	11	10	12	74
処理工場は確認、最終処分地は確認していない	4	3	2	3	3	5	1	21
書面で確認している	38	30	16	21	22	18	16	161
確認していない	3	1	4	1	0	2	0	11
その他	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	50	42	32	43	36	36	29	268

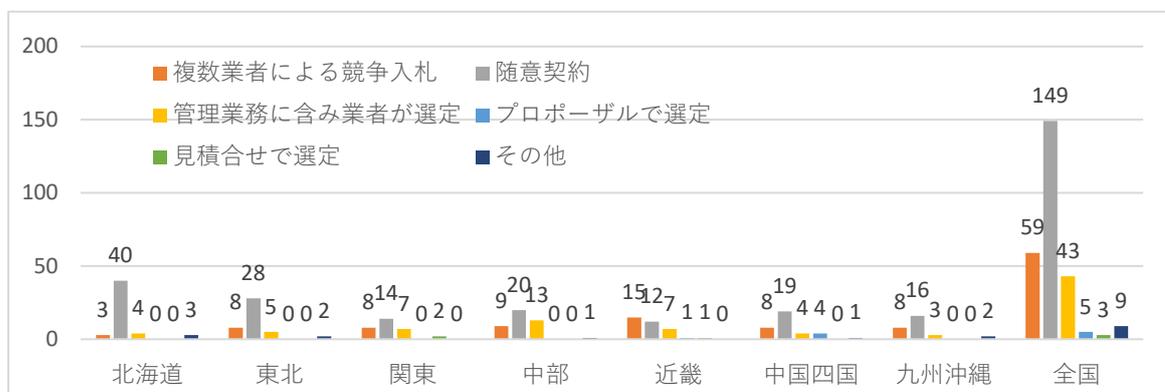
その他 ・指定管理者へ委託



[設問 18-2] 処理業者の選考方法は何ですか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
複数業者による競争入札	3	8	8	9	15	8	8	59
随意契約	40	28	14	20	12	19	16	149
管理業務に含み業者が選定	4	5	7	13	7	4	3	43
プロポーザルで選定	0	0	0	0	1	4	0	5
見積合せて選定	0	0	2	0	1	0	0	3
その他	3	2	0	1	0	1	2	9
合計	50	43	31	43	36	36	29	268

その他：9件 ・費用がかかっていない：4 ・登録業者複数と順番に委託：2
 ・自動更新：1 ・九州に1件しかない：1 ・不明：1

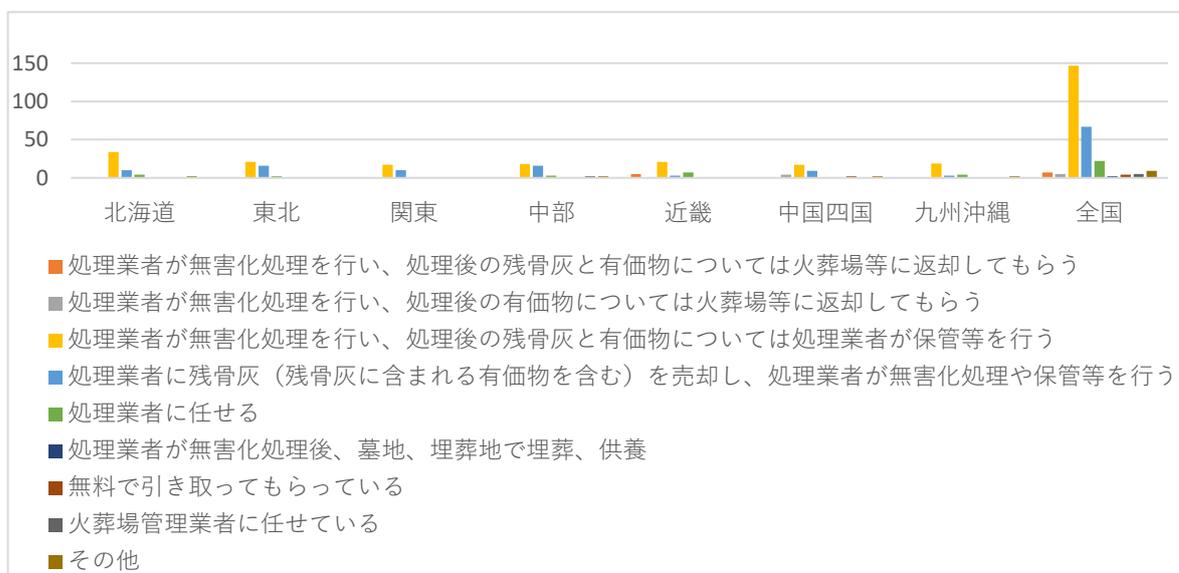


[設問 18-3] 処理業者への委託内容について教えてください。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
処理業者が無害化処理を行い、処理後の残骨灰と有価物については火葬場等に返却してもらう	0	1	1	0	5	0	0	7
処理業者が無害化処理を行い、処理後の有価物については火葬場等に返却してもらう	0	0	0	1	0	4	0	5
処理業者が無害化処理を行い、処理後の残骨灰と有価物については処理業者が保管等を行う	34	21	17	18	21	17	19	147
処理業者に残骨灰（残骨灰に含まれる有価物を含む）を売却し、処理業者が無害化処理や保管等を行う	10	16	10	16	3	9	3	67
処理業者に任せる	4	2	1	3	7	1	4	22
処理業者が無害化処理後、墓地、埋葬地で埋葬、供養	0	1	1	0	0	0	0	2
無料で引き取ってもらっている	0	1	0	1	0	2	0	4
火葬場管理業者に任せている	0	0	1	2	0	1	1	5
その他	2	0	1	2	0	2	2	9
合計	50	42	32	43	36	36	29	268

その他：9件 ・有価物の有効利用はしていない：2

- ・ 処理業者が無害化処理を行い、処理後の残骨灰のうち 1%を返還してもらいその他は処理業者が保管、有価物は処理業者が売却：1
- ・ 委託業者が分別し、残骨は寺の埋蔵地にて供養、金属類は売却：1
- ・ 処理業者が無害化処理及び有価物引取を行い、処理後の残骨は返納してもらう：1
- ・ 不明：4



「処理業者が無害化処理し、処理後の残骨灰と有価物は火葬場等に返却」の場合

[設問 18-4] 処理業者に残骨灰と有価物の分離を行わせていますか。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
区分								
分離を行わせている	0	1	1	0	5	0	0	7
分離を行っていない	0	0	1	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	2	0	5	0	0	8

[設問 18-5] 返却された有価物は保管または売却をしていますか。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
区分								
有価物を保管している	0	0	0	0	0	0	0	0
有価物を売却している	0	1	1	0	5	0	0	7
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	1	0	5	0	0	7

[設問 18-6] 有価物を売却している場合、売却益は何の費用に充てていますか。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
区分								
火葬場の施設整備に充てている	0	0	0	0	4	0	0	4
一般財源に計上しており用途は定めていない	0	1	1	0	1	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	1	0	5	0	0	7

[設問 18-7] 返却された残骨灰について、最終的にどのように処理していますか。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
区分								
公営墓地で保管	0	0	1	0	0	0	0	1
民間墓地で保管	0	1	1	0	0	0	0	2
廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0
売却	0	0	0	0	0	0	0	0
敷地内に収蔵	0	0	0	0	5	0	0	5
分からない	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	2	0	5	0	0	8

[設問 18-8] 過去5年間において、残骨灰の処理処分に関する入札または契約の結果、1円または0円の金額になったことはありますか。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
区分								
①3回以上ある	0	0	1	0	0	0	0	1
②1、2回ある	0	0	0	0	0	0	0	0
③ない（下記④の場合を除く）	0	1	1	0	0	0	0	2
④最低制限価格制度を導入しているため、ない	0	0	0	0	5	0	0	5
その他	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	0	1	3	0	5	0	0	9

その他：7回以上ある。

「処理業者が無害化処理し、処理後の有価物は火葬場等に返却」の場合

[設問 18-9] 返却された有価物は保管または売却をしていますか。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
有価物を保管している	0	0	0	0	0	0	0	0
有価物を売却している	0	0	0	0	0	4	0	4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	4	0	4

[設問 18-10] 有価物を売却している場合、売却益は何の費用に充てていますか。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
火葬場の施設整備費に充てている	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源に計上しており用途は特定されていない	0	3	1	0	0	0	0	4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	3	1	0	0	0	0	4

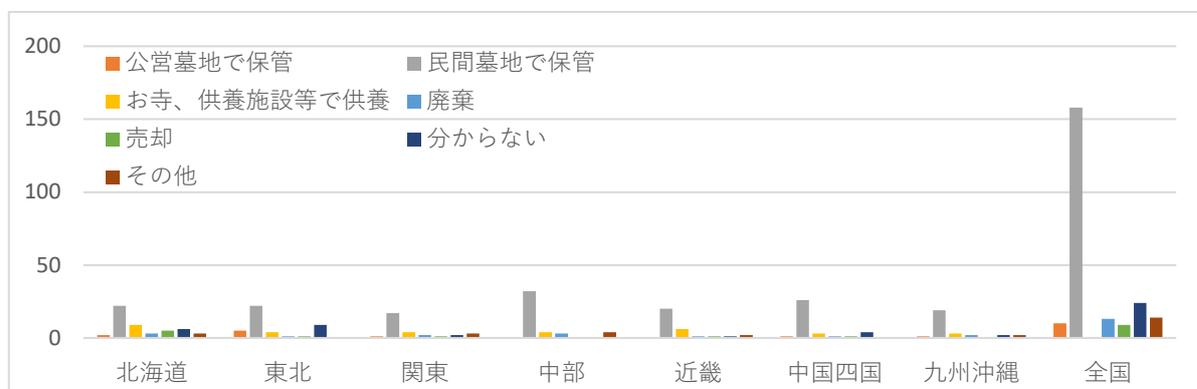
「処理業者に委託している」場合のすべてに対して

[設問 18-11] 処理業者は処理後の残骨灰をどのようにしていますか。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
公営墓地で保管	2	5	1	0	0	1	1	10
民間墓地で保管	22	22	17	32	20	26	19	158
お寺、供養施設等で供養	9	4	4	4	6	3	3	33
廃棄	3	1	2	3	1	1	2	13
売却	5	1	1	0	1	1	0	9
分からない	6	9	2	0	1	4	2	24
その他	3	0	3	4	2	0	2	14
合計	50	42	30	43	31	36	29	261

その他

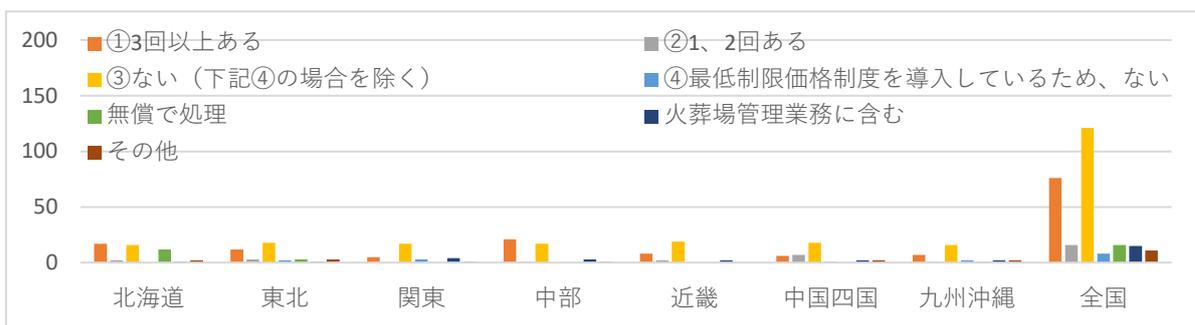
- ・ リサイクル施設で再利用：4
- ・ 無害化処理：2
- ・ 適正に処理：2
- ・ 有価物はない：1
- ・ 残骨灰層（？槽）に返納してもらう：1
- ・ 全部返還：1
- ・ 全体処理量の3%以上(A)を床が不浸透材料である建築物内の専用区域に保管。Aのうち3%を斎場内の供養塔に返還。それ以外は、適正に埋却：1
- ・ 供養まで把握、その後は不明：1



[設問 18-12] 過去5年間に於いて、残骨灰の処理処分に關する入札または契約の結果、1円または0円の金額になったことはありますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
①3回以上ある		17	12	5	21	8	6	7	76
②1、2回ある		2	3	0	1	2	7	1	16
③ない(下記④の場合を除く)		16	18	17	17	19	18	16	121
④最低制限価格制度を導入しているため、ない		0	2	3	0	0	1	2	8
無償で処理		12	3	0	0	0	0	1	16
火葬場管理業務に含む		1	1	4	3	2	2	2	15
その他		2	3	1	1	0	2	2	11
合計		50	42	30	43	31	36	31	263

その他 ・入札無し：5 ・不明：6



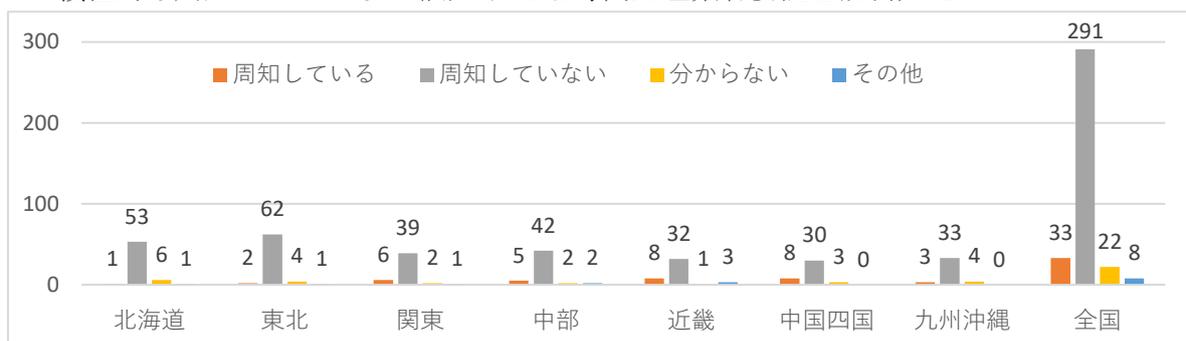
[設問 19] 残骨灰の処理方法について、地域住民の方に対してなど、対外的に方針を周知していますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
周知している		1	2	6	5	8	8	3	33
周知していない		53	62	39	42	32	30	33	291
分からない		6	4	2	2	1	3	4	22
その他		1	1	1	2	3	0	0	8
合計		61	69	48	51	44	41	40	354

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
周知している		1.6%	2.9%	12.5%	9.8%	18.2%	19.5%	7.5%	9.3%
周知していない		86.9%	89.9%	81.3%	82.4%	72.7%	73.2%	82.5%	82.2%
分からない		9.8%	5.8%	4.2%	3.9%	2.3%	7.3%	10.0%	6.2%
その他		1.6%	1.4%	2.1%	3.9%	6.8%	0.0%	0.0%	2.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他 ・問合せがあればお答えしている。：5

- ・議会へ報告した。：1
- ・方針の内容を検討中：1
- ・積極的な周知はしていない(聞かれたら専門処理業者委託と説明)：1



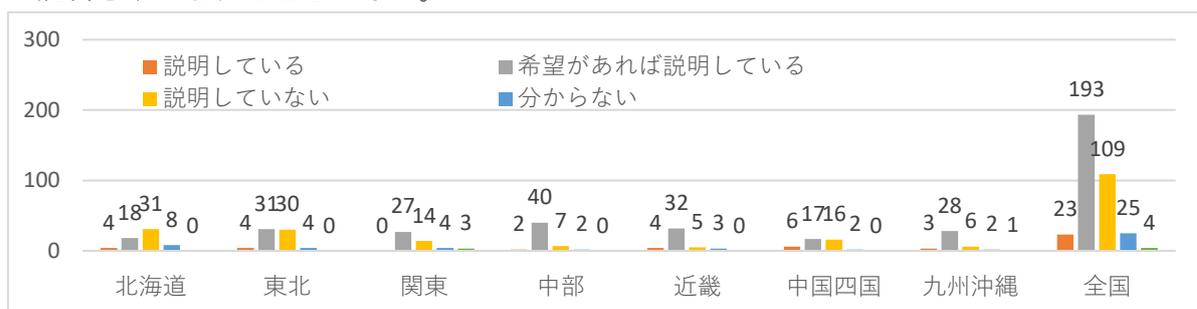
[設問 20] 残骨灰の処理方法について、遺族の方に説明していますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
説明している		4	4	0	2	4	6	3	23
希望があれば説明している		18	31	27	40	32	17	28	193
説明していない		31	30	14	7	5	16	6	109
分からない		8	4	4	2	3	2	2	25
その他		0	0	3	0	0	0	1	4
合計		61	69	48	51	44	41	40	354

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
説明している		6.6%	5.8%	0.0%	3.9%	9.1%	14.6%	7.5%	6.5%
希望があれば説明している		29.5%	44.9%	56.3%	78.4%	72.7%	41.5%	70.0%	54.5%
説明していない		50.8%	43.5%	29.2%	13.7%	11.4%	39.0%	15.0%	30.8%
分からない		13.1%	5.8%	8.3%	3.9%	6.8%	4.9%	5.0%	7.1%
その他		0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	1.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他

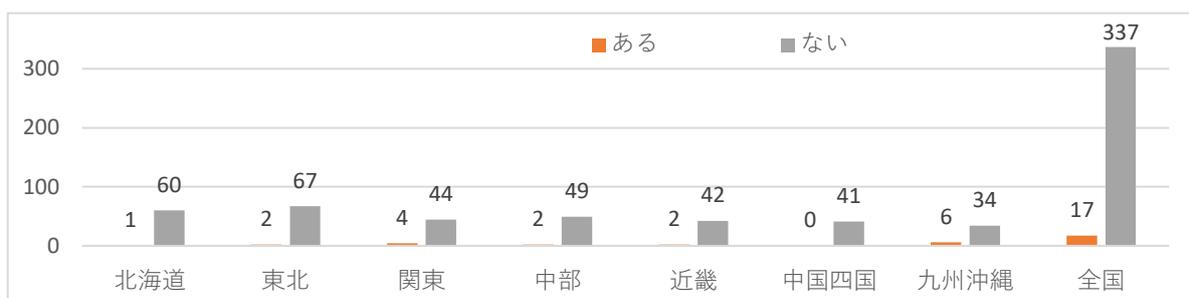
- ・ 指定管理者が対応：1
- ・ 説明を求められたことがない。：3



[設問 21] 残骨灰の処理方法について、遺族や地域住民の方から意見・要望等が出たことがありますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
ある		1	2	4	2	2	0	6	17
ない		60	67	44	49	42	41	34	337
合計		61	69	48	51	44	41	40	354

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
ある		1.6%	2.9%	8.3%	3.9%	4.5%	0.0%	15.0%	4.8%
ない		98.4%	97.1%	91.7%	96.1%	95.5%	100.0%	85.0%	95.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

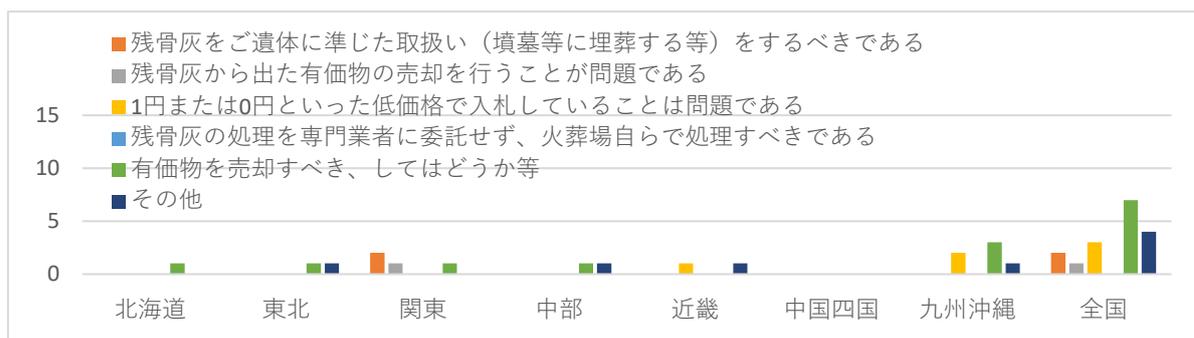


[設問 21-1] 残骨灰の処理方法について、遺族や地域住民の方からどのような意見・要望等が出たことがありますか。(複数回答可)

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
残骨灰をご遺体に準じた取扱い(墳墓等に埋葬する等)をするべきである		0	0	2	0	0	0	0	2
残骨灰から出た有価物の売却を行うことが問題である		0	0	1	0	0	0	0	1
1円または0円といった低価格で入札していることは問題である		0	0	0	0	1	0	2	3
残骨灰の処理を専門業者に委託せず、火葬場自前で処理すべきである		0	0	0	0	0	0	0	0
有価物を売却すべき、してはどうか等		1	1	1	1	0	0	3	7
その他		0	1	0	1	1	0	1	4
合計		1	2	4	2	2	0	6	17

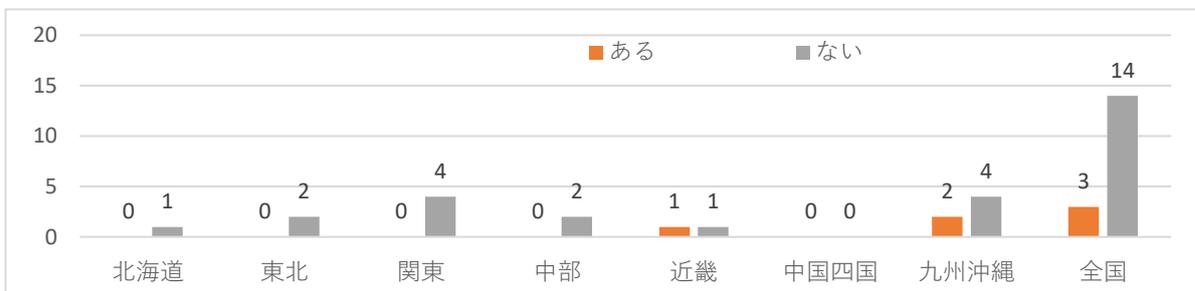
その他

- ・残骨灰の保管及び処理について、死者の尊厳や遺族感情を考慮し行うべきである。：1
- ・最終埋葬地は、宗教的に中立にすべきである：1
- ・処理業者・収骨の場所など：1



[設問 21-2] 意見・要望等に基づき、残骨灰の処理を変更したことがありますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
ある		0	0	0	0	1	0	2	3
ない		1	2	4	2	1	0	4	14
合計		1	2	4	2	2	0	6	17



[設問 21-3] 「意見・要望等に基づき、残骨灰の処理を変更したことがある」と答えた方にお聞きします。変更前及び変更後の処理方法について教えてください。

- ・残骨の収蔵供養を条件とする残骨灰を処理する業務委託：2
- ・令和6年度より有価物を売却し、売却益の返還：1

[設問 22] 今後、残骨灰の処理方法を見直す予定はありますか。

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
見直しの予定が明確に決まっており、近日中に見直す予定である	1	0	1	2	1	2	0	7
見直しの具体的な予定は決まってないが、今後見直す予定である	1	9	6	10	2	2	6	36
見直す予定はない	54	53	32	30	37	25	20	251
分からない	5	7	9	9	4	12	14	60
合計	61	69	48	51	44	41	40	354

地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
見直しの予定が明確に決まっており、近日中に見直す予定である	1.6%	0.0%	2.1%	3.9%	2.3%	4.9%	0.0%	2.0%
見直しの具体的な予定は決まってないが、今後見直す予定である	1.6%	13.0%	12.5%	19.6%	4.5%	4.9%	15.0%	10.2%
見直す予定はない	88.5%	76.8%	66.7%	58.8%	84.1%	61.0%	50.0%	70.9%
分からない	8.2%	10.1%	18.8%	17.6%	9.1%	29.3%	35.0%	16.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



[設問 22-1] 残骨灰の処理方法を見直す場合、なぜ見直しを行うのか、どのように見直しを行うのか、お答えいただける範囲で回答をお願いします。

- ・有価物について売却を検討：13
- ・有価物の売却益を維持補修費等の財源とするため：9
- ・入札を検討：4
- ・複数の業者から選定：3
- ・検討中：2
- ・アンケート結果の反映。歳入の確保。：1
- ・含まれる有価物を市の財源として活用すべきとの意見があったため、無害化、有価物の抽出、抽出後に残されたものの供養、有価物の返却を委託事業として実施予定：1
- ・市議会議員からの要望：1
- ・財政事情及び他自治体の対応状況：1

9 火葬場の運営管理、職員数等について【設問 23～31】

- (1) 火葬場の運営管理形態は、「一部委託」が 109 件 (30.8%)、「指定管理者による管理」が 92 件 (26.0%)、「全面委託」が 78 件 (22.0%)、「直営」が 70 件 (19.8%)、「PFI による運営」が 4 件 (1.1%) などである。
- (2) 火葬場の職員数は、総数が平均 7.9 人 (1～115 人) であり、そのうち直営が平均 5.5 人 (0.3～34 人)、委託が平均 6.6 人 (1～104 人)、嘱託が平均 2.9 人 (1～9 人) である。

火葬業務担当者数は、総数が平均 4.2 人 (1～21 人) であり、そのうち直営が平均 3.7 人 (0.3～16 人)、委託が平均 3.9 人 (1～15 人)、嘱託が平均 2.2 人 (1～8 人) である。

管理業務担当者数は、総数が平均 3.1 人 (1～27 人) であり、そのうち直営が平均 3.0 人 (0.3～13 人)、委託が平均 2.7 人 (1～23 人)、嘱託が平均 1.9 人 (1～6 人) である。

サービス (湯茶等) 担当者数は、総数が平均 4.2 人 (0.1～17 人) であり、そのうち直営が平均 3.2 人 (1～9 人)、委託が平均 4.2 人 (0.1～17 人)、嘱託が平均 3.7 人 (1～10 人) である。

その他は、派遣元として、施設借業者 10 件、指定管理者 8 件、委託管理者 7 件、葬儀社 2 件、再任用職員 2 件などである。作業内容としては、清掃 9 件、売店 7 件、喫茶店・レストラン 2 件、受付・事務 4 件などである。

- (3) 火葬作業ができる職員数は平均 3.5 人 (0～16 人) である。
- (4) 職員の部内、部外での教育訓練は、「火葬場・所管部署内等で一般職員への研修」が 92 件、「一般職を民間団体での研修や講習会等に参加」が 58 件、「火葬場・所管部署内等で管理職への研修」が 50 件、「管理職を民間団体での研修や講習会等に参加」が 38 件であるが、「管理委託業者が実施」が 28 件、「教育訓練に取り組んでいない」が 164 件である。

研修や講習会等のテーマは、「火葬 (技術、施設の維持・管理等) 関係」が 117 件、「火葬 (法令・条例等に拠った事務手続等) 関係」が 76 件、「労働安全衛生」が 63 件、「感染症対策」が 43 件であるが、「研修を開催しておらず、民間団体での研修や講習会への参加もさせていない」が 169 件である。その他としては、「行政研修」が 5 件、「接遇研修、サービス応対等」が 3 件、「防火管理者の講習を受講」が 3 件、「人権、ハラスメント、コンプライアンス研修」が 2 件、「非常時の対応について」が 2 件などである。

- (5) 「特定の資格、免許等を有する従業員の配置における基準・目安」の有無は、「はい」が 83 件 (23.4%)、「いいえ」が 258 件 (72.9%) である。

特定の資格、免許等は、危険物取扱者が 29 件、防火管理者が 13 件、火葬技術管理士が 5 件、安全衛生推進者が 2 件、保安技術員、保安技術員補が 2 件などである。配置に関する基準・目安を設けている資格、免許等の名称と、従業員に占める割合は、1 つ目では危険物取扱者が 31 件 (割合 0～50)、防火管理者が 21 件 (割合 0.5～10)、火葬技

術管理士が3件（割合2～8）、保安技術員、保安技術員補が2件（割合1）などである。2つ目では危険物取扱者が8件（割合0.5～7）、防火管理者が8件（割合5～50）、火葬場管理者研修会の修了が3件（割合0.5～10.67）などである。3つ目では火葬技術管理士が2件（割合0.5～10.67）などである。

- (6) 「火葬場管理者以外に管理責任者の選任」の有無は、「はい」が120件（33.9%）、「いいえ」が232件（65.5%）である。管理責任者の肩書については、「場長、所長」が33件、「課長、室長、事務局長」が20件、「係長、主査」が7件、「主任、主事」が4件、「市町村長」が3件、「監督員」が6件、「受注業者側責任者」が37件、「防火管理者」が5件、「現場代理人」が1件である。
- (7) 「管理監督体制の一環として部内ミーティングの実施」は、「はい」が152件（42.9%）、「いいえ」が183件（51.7%）である。その他として、「随時必要に応じて」が4件、「適宜実施」が3件、「毎月定例連絡会、報告会」が2件などである。
- (8) 「火葬場利用者の方々の火葬場に対するイメージ向上を目指した活動、取組事例等」の有無は、「アンケート、意見箱等の設置」が122件、「ホームページでの利用方法等の適切な開示」が108件、「葬祭業者との定期的ミーティング、情報交換の実施」が61件、「地域自治会との定期的意見交換会の開催」が21件、「広報誌等を利用して各種啓蒙活動の実施」が15件であるが、「特に実施していない」が171件である。その他としては、「パンフレットを作成し、関係市の官公庁及び葬祭業者に配布」が2件、「施設見学会の実施」が2件である。

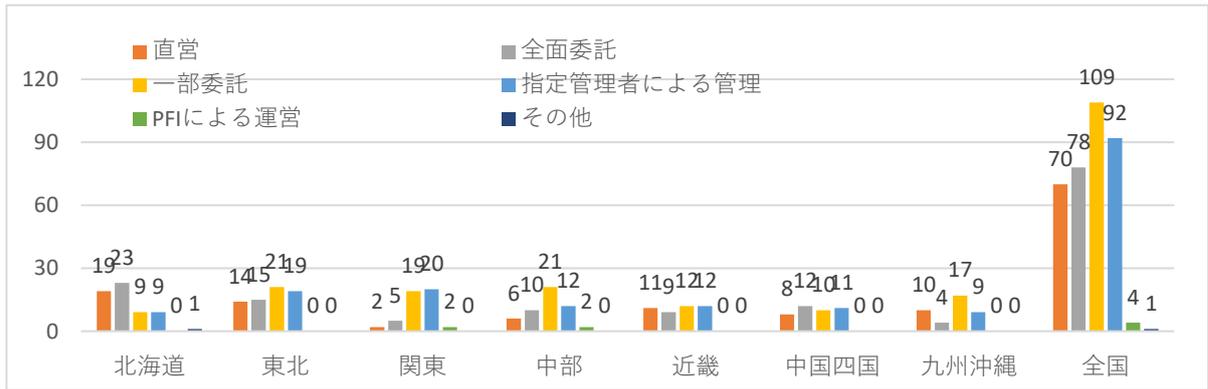
問9 火葬場の運営管理、職員数等について伺います。

[設問23] 火葬場の運営管理形態は次のどれに該当しますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
直営	19	14	2	6	11	8	10	70
全面委託	23	15	5	10	9	12	4	78
一部委託	9	21	19	21	12	10	17	109
指定管理者による管理	9	19	20	12	12	11	9	92
PFIによる運営	0	0	2	2	0	0	0	4
その他	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	61	69	48	51	44	41	40	354
区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
直営	31.1%	20.3%	4.2%	11.8%	25.0%	19.5%	25.0%	19.8%
全面委託	37.7%	21.7%	10.4%	19.6%	20.5%	29.3%	10.0%	22.0%
一部委託	14.8%	30.4%	39.6%	41.2%	27.3%	24.4%	42.5%	30.8%
指定管理者による管理	14.8%	27.5%	41.7%	23.5%	27.3%	26.8%	22.5%	26.0%
PFIによる運営	0.0%	0.0%	4.2%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
その他	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他

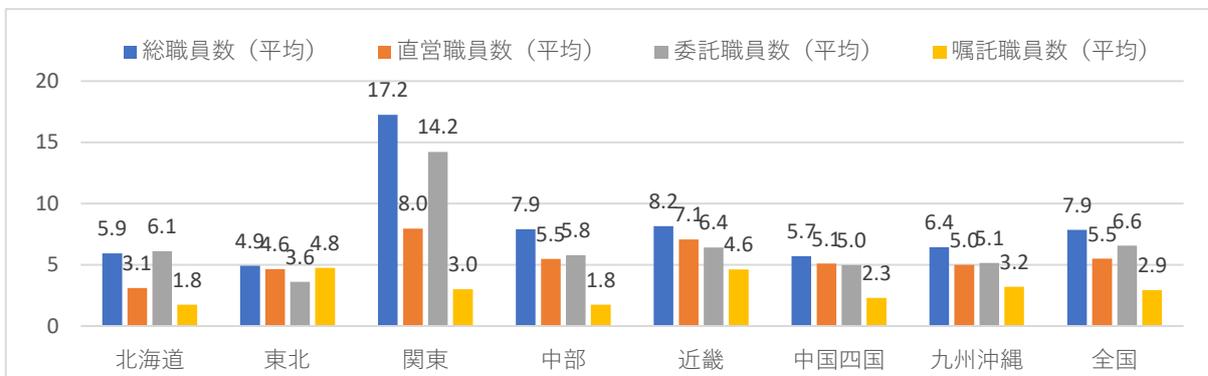
- ・当町では閉鎖



[設問 24] 火葬場の職員数、種別（直営、委託、嘱託）について伺います。

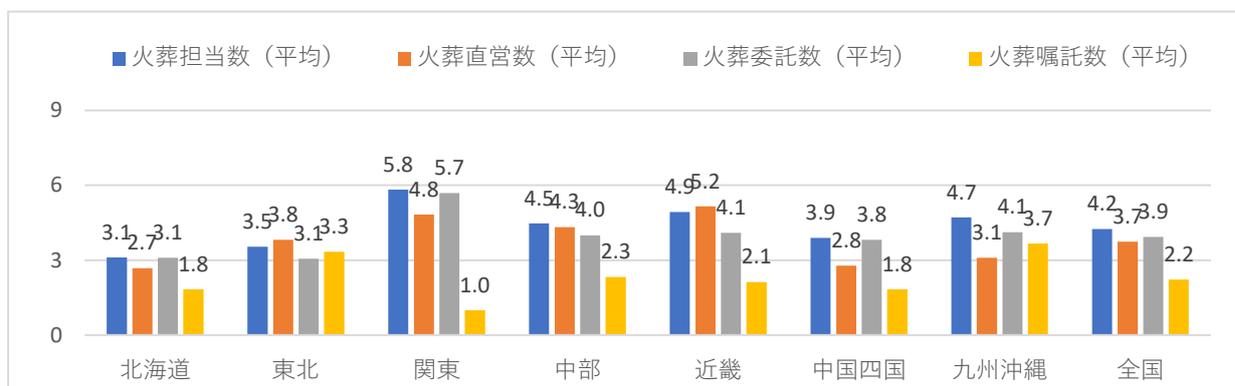
①総職員数は何人ですか。①の中で直営は何人ですか。①の中で委託は何人ですか。①の中で嘱託は何人ですか。

地域名		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
①総職員数	回答数	59	67	46	48	43	38	38	339
	合計	350	330	793	380	351	217	245	2,666
	平均	5.9	4.9	17.2	7.9	8.2	5.7	6.4	7.9
	最大	115	21	56	37	38	21	29	115
	最小	1	1	2	1	1	1	1	1
①のうち直営の人数	回答数	20	17	20	21	17	11	17	123
	合計	62	79	159	115	120	56	85	676
	平均	3.1	4.6	8.0	5.5	7.1	5.1	5.0	5.5
	最大	11	18	34	32	24	12	15	34
	最小	1	1	1	0.3	1	1	1	0.3
①のうち委託の人数	回答数	42	57	40	41	31	29	27	267
	合計	257	206	569	237	199	144	139	1,751
	平均	6.1	3.6	14.2	5.8	6.4	5.0	5.1	6.6
	最大	104	13	54	19	35	21	22	104
	最小	1	1	2	1	1	1	1	1
①のうち嘱託の人数	回答数	8	4	7	8	8	7	5	47
	合計	14	19	21	14	37	16	16	137
	平均	1.8	4.8	3.0	1.8	4.6	2.3	3.2	2.9
	最大	5	6	7	3	9	4	7	9
	最小	1	4	2	1	2	1	2	1



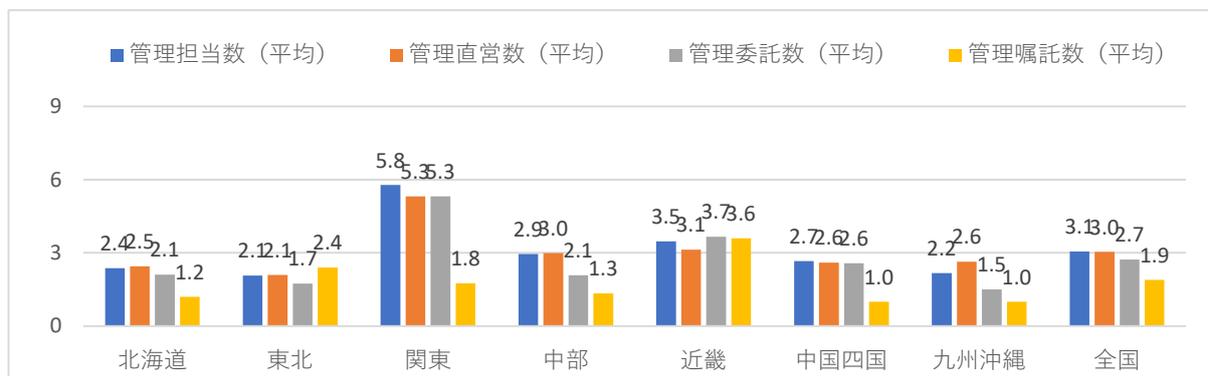
②火葬業務担当者の総数は何人ですか。②の中で直営は何人ですか。②の中で委託は何人で
 ですか。②の中で嘱託は何人ですか。

区分		地域名							
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
②火葬業務 担当職員 総数	回答数	60	68	46	47	42	37	38	338
	合計	187	241	268	210	207	144	179	1,436
	平均	3.1	3.5	5.8	4.5	4.9	3.9	4.7	4.2
	最大	16	14	16	21	15	14	12	21
	最小	1	1	1	1	1	1	1	1
②のうち 直営の人数	回答数	16	16	6	10	13	9	10	80
	合計	43	61	29	43	67	25	31	299
	平均	2.7	3.8	4.8	4.3	5.2	2.8	3.1	3.7
	最大	7	14	16	16	14	5	9	16
	最小	1	1	1	0.3	2	1	1	0.3
②のうち 委託の人数	回答数	41	49	39	40	30	28	24	251
	合計	127	150	222	160	123	107	99	988
	平均	3.1	3.1	5.7	4.0	4.1	3.8	4.1	3.9
	最大	11	12	12	13	15	14	11	15
	最小	1	1	1	1	1	1	1	1
②のうち 嘱託の人数	回答数	6	3	2	3	8	6	3	31
	合計	11	10	2	7	17	11	11	69
	平均	1.8	3.3	1.0	2.3	2.1	1.8	3.7	2.2
	最大	4	4	1	3	3	4	8	8
	最小	1	2	1	1	1	1	1	1



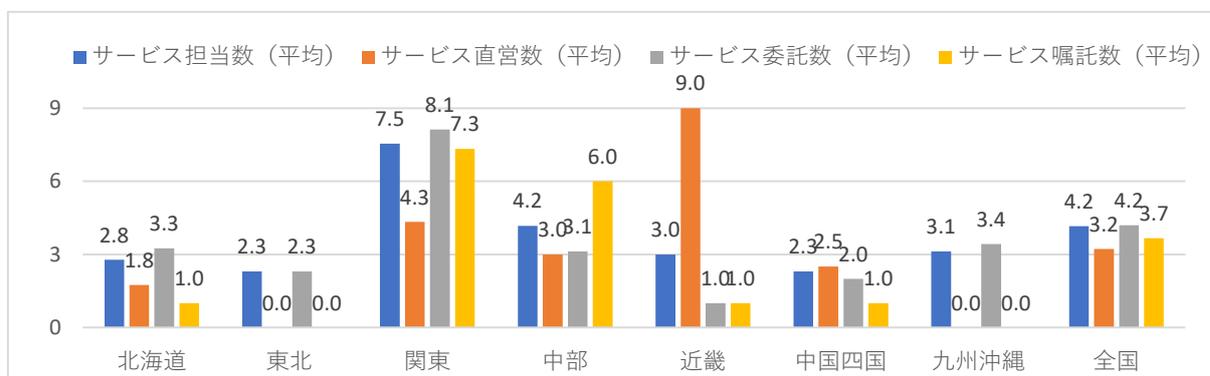
③管理業務担当者の総数は何人ですか。③の中で直営は何人ですか。③の中で委託は何人で
 ですか。③の中で嘱託は何人ですか。

区分		地域名							
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
③管理業務 担当職員 総数	回答数	53	59	45	42	40	35	29	303
	合計	126	122	260	124	139	93	63	927
	平均	2.4	2.1	5.8	2.9	3.5	2.7	2.2	3.1
	最大	11	8	27	12	23	12	7	27
	最小	1	1	1	1	1	1	1	1
③のうち 直営の人数	回答数	20	30	22	21	23	15	11	142
	合計	49	63	117	63	72	39	29	432
	平均	2.5	2.1	5.3	3.0	3.1	2.6	2.6	3.0
	最大	6	7	13	8	9	12	7	13
	最小	1	1	1	0.3	1	1	1	0.3
③のうち 委託の人数	回答数	27	27	25	24	15	19	14	151
	合計	57	47	133	50	55	49	21	412
	平均	2.1	1.7	5.3	2.1	3.7	2.6	1.5	2.7
	最大	7	5	23	6	20	9	4	23
	最小	1	1	1	1	1	1	1	1
③のうち 嘱託の人数	回答数	5	5	4	6	5	3	1	29
	合計	6	12	7	8	18	3	1	55
	平均	1.2	2.4	1.8	1.3	3.6	1.0	1.0	1.9
	最大	2	4	2	2	6	1	1	6
	最小	1	1	1	1	1	1	1	1



④サービス（湯茶等）担当者の総数は何人ですか。④の中で直営は何人ですか。④の中で委託は何人ですか。④の中で嘱託は何人ですか。

区分		地域名							
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
④サービス 担当職員 総数	回答数	18	10	22	12	4	10	8	84
	合計	50	23	166	50	12	23	25	349
	平均	2.8	2.3	7.5	4.2	3.0	2.3	3.1	4.2
	最大	17	4	15	12	9	5	8	17
	最小	1	1	1	0.1	1	1	1	0.1
④のうち 直営の人数	回答数	4	0	3	1	1	4	0	13
	合計	7	0	13	3	9	10	0	42
	平均	1.8	0.0	4.3	3.0	9.0	2.5	0.0	3.2
	最大	3	0	6	3	9	5	0	9
	最小	1	0	3	3	9	1	0	1
④のうち 委託の人数	回答数	12	10	16	9	2	5	7	61
	合計	39	23	130	28	2	10	24	256
	平均	3.3	2.3	8.1	3.1	1.0	2.0	3.4	4.2
	最大	17	4	15	6	1	4	8	17
	最小	1	1	1	0.1	1	1	1	0.1
④のうち 嘱託の人数	回答数	3	0	3	1	1	1	0	9
	合計	3	0	22	6	1	1	0	33
	平均	1.0	0.0	7.3	6.0	1.0	1.0	0.0	3.7
	最大	1	0	10	6	1	1	0	10
	最小	1	0	2	6	1	1	0	1



⑤ その他

【派遣元】

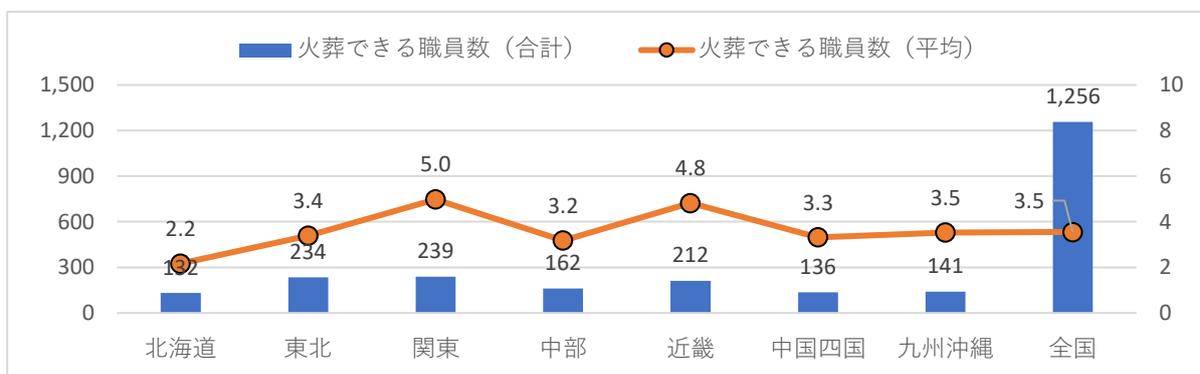
- ・施設借用者：10
- ・指定管理者：8
- ・委託管理者：7
- ・葬儀社：2
- ・再任用職員：2
- ・シルバー人材センター：1
- ・母子寡婦福祉会：1

【作業内容】

- ・清掃：9
- ・売店：7
- ・喫茶店・レストラン：2
- ・受付・事務：4
- ・湯茶等：1
- ・夜間管理：1
- ・除雪：1

[設問 25] 現在の職員体制で、火葬作業ができる職員数は何人ですか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
回答数		61	69	48	51	44	41	40	354
合計		132	234	239	162	212	136	141	1,256
平均		2.2	3.4	5.0	3.2	4.8	3.3	3.5	3.5
最大		11	14	16	13	15	12	9	16
最小		0	0	0	0	0	0	0	0

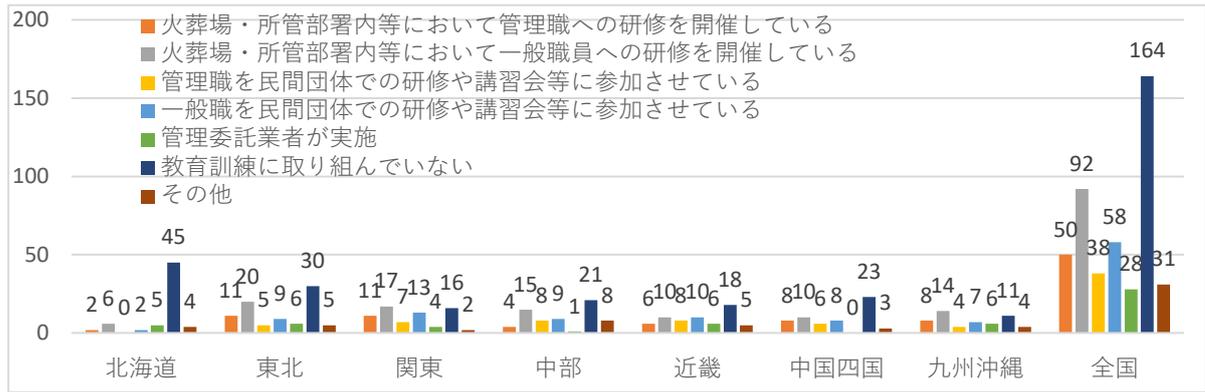


[設問 26] 職員の部内、部外での教育訓練はどのように取り組んでいますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
火葬場・所管部署内等において管理職への研修を開催している		2	11	11	4	6	8	8	50
火葬場・所管部署内等において一般職員への研修を開催している		6	20	17	15	10	10	14	92
管理職を民間団体での研修や講習会等に参加させている		0	5	7	8	8	6	4	38
一般職を民間団体での研修や講習会等に参加させている		2	9	13	9	10	8	7	58
管理委託業者が実施		5	6	4	1	6	0	6	28
教育訓練に取り組んでいない		45	30	16	21	18	23	11	164
その他		4	5	2	8	5	3	4	31
合計		64	86	70	66	63	58	54	461

その他

- ・外部団体の研修等に参加：2
- ・内部講師による研修：1
- ・関係する資格の取得：1
- ・委託業者、炉メーカーによる実技指導、マニュアル作成：1
- ・臨機応変に対応：1
- ・全職員に対し都度行っている：1
- ・年2回の防災訓練を除き、教育訓練に取り組んでいない：1
- ・斎場職員：3
- ・内部の研修等に参加：1
- ・内部の打ち合わせ会議等を実施：1
- ・業務を通しての教育研修：1
- ・職員異動がなくすでに全員受講済みである：1
- ・引継、見習期間設置：3
- ・不明：4

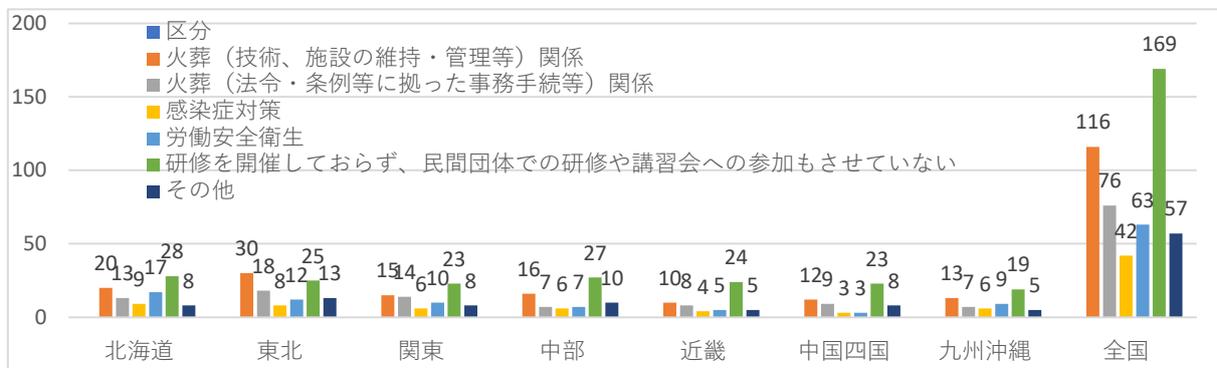


[設問 26-1] 管理職・一般職員への研修を開催している、又は民間団体での研修や講習会等に参加させている場合、その研修や講習会等のテーマを教えてください。(複数回答可)

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
火葬（技術・施設の維持・管理等）関係		20	30	15	16	10	12	14	117
火葬（法令・条例等に拠った事務手続等）関係		13	18	14	7	8	9	7	76
感染症対策		9	8	7	6	4	3	6	43
労働安全衛生		17	12	10	7	5	3	9	63
研修を開催しておらず、民間団体での研修や講習会への参加もさせていない		28	25	23	27	24	23	19	169
その他		8	13	7	10	5	8	4	55
合計		95	106	76	73	56	58	59	523

その他

- ・ 行政研修：5
- ・ 接遇研修、サービス応対等：3
- ・ 防火管理者の講習を受講：3
- ・ 人権、ハラスメント、コンプライアンス研修：2
- ・ 自衛消防訓練、防災教育：1
- ・ 非常時の対応について：2
- ・ 労働安全衛生：2
- ・ 委託業者で実施：5
- ・ 委託業者と随時検討し実施：1
- ・ 県と連携した災害時の広域火葬体制の事務訓練を実施：1
- ・ 委託業者、炉メーカーによる実技指導、マニュアル作成：1
- ・ 業務上必要な資格等に係る講習等への参加：1
- ・ 必要に応じ対応：2
- ・ 斎場職員：3
- ・ 不明：1



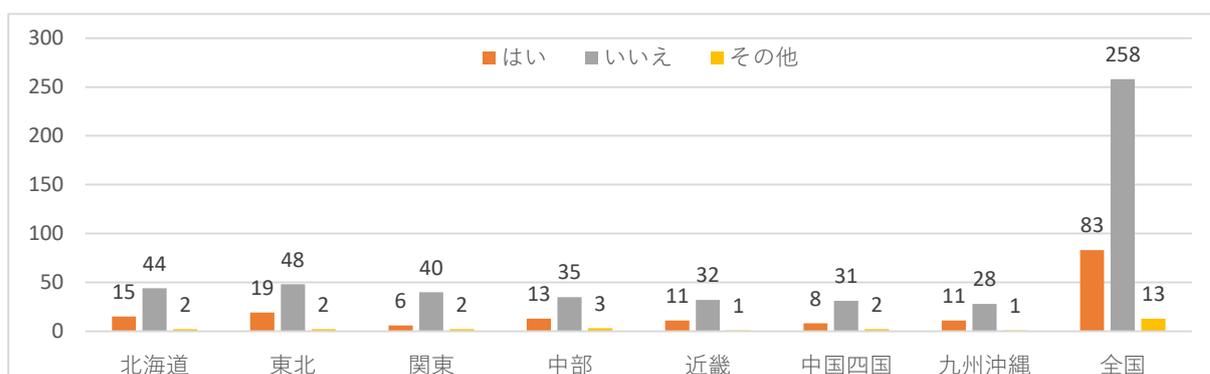
[設問 27] 特定の資格、免許等を有する従業員の配置について、基準・目安は設けていますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
はい	15	19	6	13	11	8	11	83
いいえ	44	48	40	35	32	31	28	258
その他	2	2	2	3	1	2	1	13
合計	61	69	48	51	44	41	40	354

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
はい	24.6%	27.5%	12.5%	25.5%	25.0%	19.5%	27.5%	23.4%
いいえ	72.1%	69.6%	83.3%	68.6%	72.7%	75.6%	70.0%	72.9%
その他	3.3%	2.9%	4.2%	5.9%	2.3%	4.9%	2.5%	3.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他 ・ 消防法に定める危険物取扱者を配置すること

- ・ 基準はないが消防署の指導により防火管理者を配置
- ・ 資格の取得を推奨している。
- ・ 一部契約条件として設定
- ・ 指定管理者選定時に求める。
- ・ 職員内に防火管理者の有資格者を含む。
- ・ PFI 事業の施設は設けている。
- ・ 指定管理者の基準によるもの
- ・ 不明：5



特定の資格、免許等を有する従業員の配置についての基準・目安について具体的に教えてください。

- ・ 危険物取扱者：29
- ・ 防火管理者：13
- ・ 火葬技術管理士：5
- ・ 安全衛生推進者：2
- ・ 保安技術員、保安技術員補：2
- ・ 電気工事士：1
- ・ 普通自動車運転免許：1
- ・ 使用燃料により必要免許（資格）：1
- ・ 食品衛生責任者：1
- ・ 公害防止主任者：1
- ・ 消防署の行う応急手当講習（AEDの使用に必要な講習を含む）を受講：1
- ・ 火葬、受付業務に精通した責任者1名の配置：1

[設問 27-1] 配置に関する基準・目安が設けられている資格、免許等の名称と、貴事業所の従業員に占める割合を教えてください。（複数の資格、免許等に関する基準・目安を設けている場合、主なものを最大3つお答えください。）

1つ目の資格・免許等の名称、割合

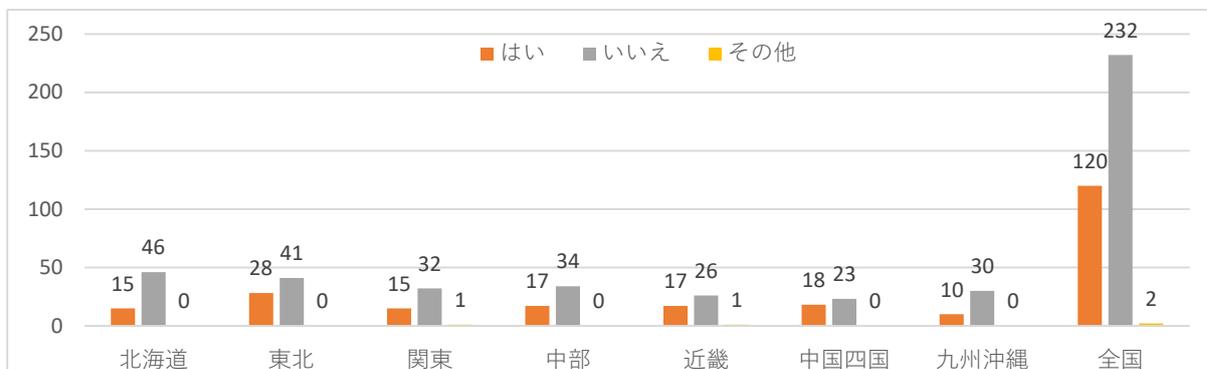
- ・ 危険物取扱者：31 割合 0～50
- ・ 防火管理者：21 割合 0.5～10
- ・ 保安技術員、保安技術員補：2 割合 10

- ・火葬技術管理士：3 割合 2～8
 - ・火葬場管理者研修会の修了：1 割合 1
- 2つ目の資格・免許等の名称、割合
- ・危険物取扱者：8 割合 0.5～7
 - ・防火管理者：8 割合 0～50
 - ・火葬場管理者研修会の修了：3 割合 0.5～10.67
 - ・普通自動車免許：1 割合 1
- 3つ目の資格・免許等の名称、割合
- ・火葬技術管理士：2 割合 0.5～10.67
 - ・大型自動車運転免許：1 割合 5
 - ・食品衛生責任者：1 割合 1

[設問 28] 火葬場の管理監督体制として火葬場管理者以外に管理責任者を選任していますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
はい		15	28	15	17	17	18	10	120
いいえ		46	41	32	34	26	23	30	232
その他		0	0	1	0	1	0	0	2
合計		61	69	48	51	44	41	40	354
区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
はい		24.6%	40.6%	31.3%	33.3%	38.6%	43.9%	25.0%	33.9%
いいえ		75.4%	59.4%	66.7%	66.7%	59.1%	56.1%	75.0%	65.5%
その他		0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.6%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他 ・毎月定例連絡会 ・不明



[設問 29] 「管理責任者を選任している」と答えた方にお聞きします。管理責任者の肩書をお答えください。

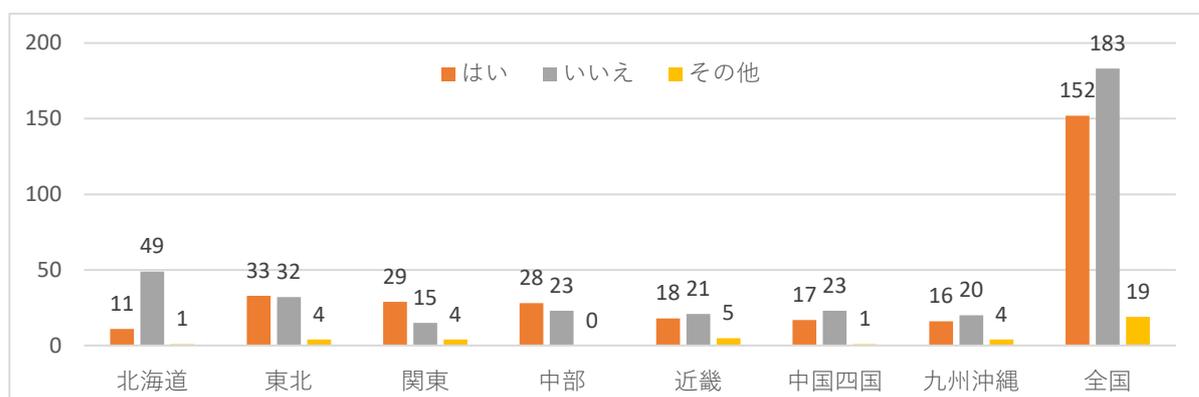
- ・場長、所長：33
- ・係長、主査：7
- ・市町村長：3
- ・受注業者側責任者：37
- ・現場代理人：1
- ・課長、室長、事務局長：20
- ・主任、主事：4
- ・監督員：6
- ・防火管理者：5

[設問 30] 管理監督体制の一環として部内ミーティングを実施していますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
はい		11	33	29	28	18	17	16	152
いいえ		49	32	15	23	21	23	20	183
その他		1	4	4	0	5	1	4	19
合計		61	69	48	51	44	41	40	354
区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
はい		18.0%	47.8%	60.4%	54.9%	40.9%	41.5%	40.0%	42.9%
いいえ		80.3%	46.4%	31.3%	45.1%	47.7%	56.1%	50.0%	51.7%
その他		1.6%	5.8%	8.3%	0.0%	11.4%	2.4%	10.0%	5.4%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他

- ・ 随時必要に応じて：4
- ・ 毎月定例連絡会、報告会：2
- ・ 斎場職員（会計年度）との個別面談
- ・ 指定管理者内で実施
- ・ 適宜実施：3
- ・ 指定管理者との連絡調整会議
- ・ 指定管理者の業務範囲
- ・ 不明：6



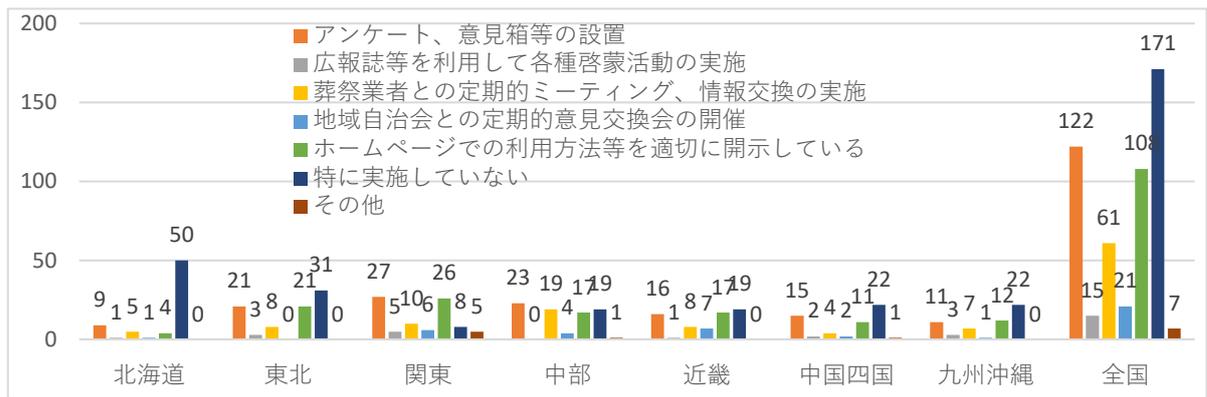
[設問 31] 火葬場利用者の方々の火葬場に対するイメージ向上を目指した活動、取組事例等がありますか。（複数回答可）

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
アンケート、意見箱等の設置		9	21	27	23	16	15	11	122
広報誌等を利用して各種啓蒙活動の実施		1	3	5	0	1	2	3	15
葬祭業者との定期的ミーティング、情報交換の実施		5	8	10	19	8	4	7	61
地域自治会との定期的意見交換会の開催		1	0	6	4	7	2	1	21
ホームページでの利用方法等を適切に開示している		4	21	26	17	17	11	12	108
特に実施していない		50	31	8	19	19	22	22	171
その他		0	0	5	1	0	1	0	7
合計		70	84	87	83	68	57	56	505

その他

- ・ パンフレットを作成し、関係市の官公庁及び葬祭業者に配布：2
- ・ 施設見学会の実施：2
- ・ 環境美化活動、湯茶サービス：1

- ・火葬場周辺の環境整備：1
- ・行政担当課と指定管理側で協議、情報交換を随時開催：1



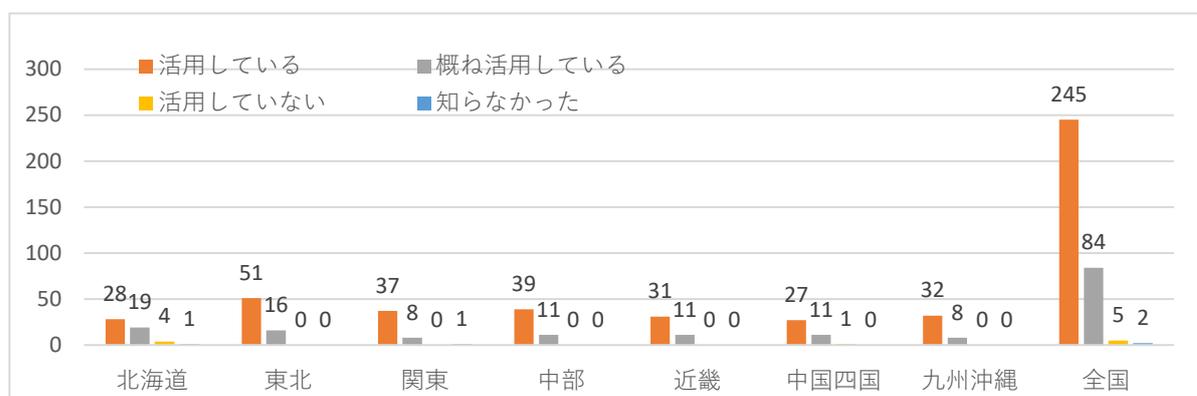
10 ガイドラインの活用について【設問 32】

- (1) ガイドラインの活用については、「活用している」が 245 件 (72.9%)、「概ね活用している」が 84 件 (25.0%)、「活用していない」が 5 件 (1.5%)、「知らなかった」が 2 件 (0.6%) である。
- (2) 「感染症に罹患したことが分かっているご遺体を扱う際の安全面の不安」については、「かなり不安がある」が 14 件 (4.0%)、「不安がある」が 139 件 (39.3%)、「不安がない」が 142 件 (40.1%) である。
- (3) 「ガイドラインについての説明を公衆衛生の専門家から詳しく聞いてみたいかどうか」については、「ぜひ聞いてみたい」が 7 件 (2.0%)、「機会があれば聞いてみたい」が 188 件 (53.1%)、「聞いてみたいと思わない」が 98 件 (27.7%) である。

[設問 32] ガイドラインを活用していますか。

区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
活用している	28	51	37	39	31	27	32	245
概ね活用している	19	16	8	11	11	11	8	84
活用していない	4	0	0	0	0	1	0	5
知らなかった	1	0	1	0	0	0	0	2
合計	52	67	46	50	42	39	40	336

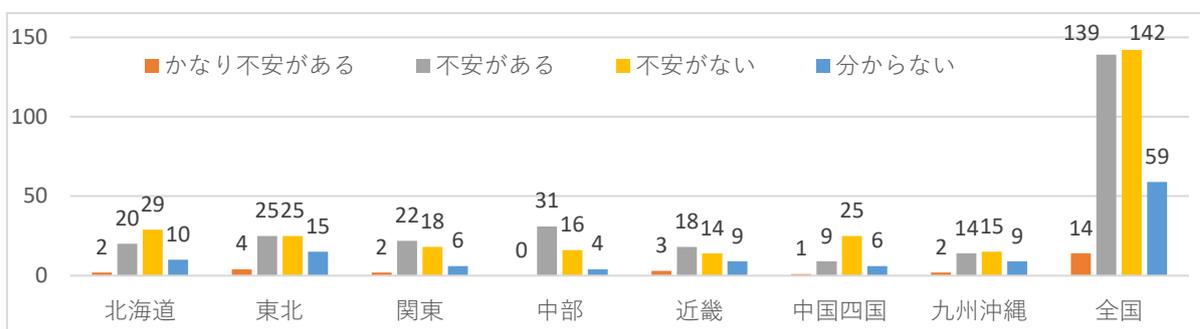
区分 \ 地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
活用している	53.8%	76.1%	80.4%	78.0%	73.8%	69.2%	80.0%	72.9%
概ね活用している	36.5%	23.9%	17.4%	22.0%	26.2%	28.2%	20.0%	25.0%
活用していない	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	1.5%
知らなかった	1.9%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



[設問 33] 感染症に罹患したことが分かっているご遺体を扱う際の安全面の不安はありませんか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
かなり不安がある		2	4	2	0	3	1	2	14
不安がある		20	25	22	31	18	9	14	139
不安がない		29	25	18	16	14	25	15	142
分からない		10	15	6	4	9	6	9	59
合計		61	69	48	51	44	41	40	354

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
かなり不安がある		3.3%	5.8%	4.2%	0.0%	6.8%	2.4%	5.0%	4.0%
不安がある		32.8%	36.2%	45.8%	60.8%	40.9%	22.0%	35.0%	39.3%
不安がない		47.5%	36.2%	37.5%	31.4%	31.8%	61.0%	37.5%	40.1%
分からない		16.4%	21.7%	12.5%	7.8%	20.5%	14.6%	22.5%	16.7%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



[設問 34] ガイドラインについての説明を公衆衛生の専門家から詳しく聞いてみたいと思いますか。

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
ぜひ聞いてみたい		0	1	4	0	1	1	0	7
機会があれば聞いてみたい		23	38	27	26	26	26	22	188
聞いてみたいと思わない		33	14	11	14	6	7	13	98
分からない		5	16	6	11	11	7	5	61
合計		61	69	48	51	44	41	40	354

区分	地域名	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄	全国
ぜひ聞いてみたい		0.0%	1.4%	8.3%	0.0%	2.3%	2.4%	0.0%	2.0%
機会があれば聞いてみたい		37.7%	55.1%	56.3%	51.0%	59.1%	63.4%	55.0%	53.1%
聞いてみたいと思わない		54.1%	20.3%	22.9%	27.5%	13.6%	17.1%	32.5%	27.7%
分からない		8.2%	23.2%	12.5%	21.6%	25.0%	17.1%	12.5%	17.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

